

令和元年度札幌市障がい福祉施策に係る障がい児者実態等調査

報告書

【 付 録 】

2020年3月

札幌市

さっぽろ市
札幌市

ほけんふんくし かん
保健福祉に関するアンケート調査

ひ 日ごころから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、
厚くお礼を申し上げます。

このたび、障がいのある方の状況やご意見をお聞かせいただき、今後の障がい者施策の推進に役立てるために「保健福祉に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

なお、今回の調査は令和元年9月1日現在、障がい者手帳または特定医療費(指定難病)受給者証をお持ちの方から、無作為に抽出して(くじ引きのような方法で選んで)、そのご本人様あてにお送りしたものです。

ご回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人についてご回答ください。(この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。)
- ② ご本人が病氣や障がいなどの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 令和元年9月1日現在の状況で記入してください。
- ④ 記入していただいたアンケートは、同封している返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、令和元年11月11日(月曜日)までに、投函してください。
(名前を書く必要はありません。)

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
担当：清家、河原

TEL011-231-3053 / Fax011-231-3143

さっぽろしいたくきょうむ
(札幌市委託業務)

この調査票に回答される人はどなたですか。あてはまるものに○をつけてください。

1 あて名ご本人 (ご本人の回答を他の人が代筆される場合を含む)

2 ご家族の人

3 その他 ()

1 あなたのこと、世帯の状況について

あなたの性別に○をつけてください。

- 1 男
- 2 女
- 3 その他

あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 18歳～19歳
- 2 20歳～29歳
- 3 30歳～39歳
- 4 40歳～49歳
- 5 50歳～59歳
- 6 60歳～64歳
- 7 65歳～74歳
- 8 75歳以上

あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 家族または自分の持ち家
- 2 民間のアパートなど
- 3 市営住宅
- 4 道営住宅、公団の住宅
- 5 会社の寮
- 6 グループホーム (障がい者向け)
- 7 入所施設 (障害者支援施設)
- 8 病院に入院中
- 9 高齢者向けの入所施設等
- 10 その他 ()

問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	身体障害者手帳 1級または2級	3	身体障害者手帳 3級または4級
3	身体障害者手帳 5級または6級	4	療育手帳 A (嚴重または重度)
5	療育手帳 B (中度)	6	療育手帳 B (軽度)
7	精神障害者保健福祉手帳 1級	8	精神障害者保健福祉手帳 2級
9	精神障害者保健福祉手帳 3級	10	自立支援医療 (精神通院医療受給者証)
11	特定医療費 (指定難病) 受給者証または特定疾患医療受給者証	12	上記のいずれも持っていない

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	視覚障がい	2	聴覚障がい
3	平衡機能障がい	4	音声・言語・そしゃく機能障がい
5	肢体不自由 (上肢)	6	肢体不自由 (下肢)
7	肢体不自由 (体幹)	8	脳病変による運動機能障害 (上肢)
9	脳病変による運動機能障害 (移動)	10	心臓機能障がい
11	じん臓機能障がい	12	呼吸器機能障がい
13	小腸機能障がい	14	ぼうこう・直腸機能障がい
15	免疫機能障がい	16	肝臓機能障がい
17	知的障がい	18	重症心身障がい
19	統合失調症	20	気分障がい (うつ病、躁病など)
21	中毒性精神障がい (アルコール等)	22	心因性精神障がい (心因反応、パニック障害等)
23	パーソナリティ (人格) 障がい	24	認知症
25	てんかん	26	発達障がい
27	高次脳機能障がい	28	難病
29	化学物質過敏症	30	その他 ()

問6 家族のことについてお答えください。

(1) あなたは何人家族ですか。

あなたを含めて 人家族

(2) いっしょに住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	父	2	母
3	夫または妻 (配偶者)	4	兄弟姉妹
5	祖父・祖母	6	子ども
7	子どもの配偶者	8	その他の親族
9	施設に入所中	10	その他 ()
11	いない (ひとり暮らし)		

問7 あなたの主な支援者はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	いない	2	父
3	母	4	夫または妻 (配偶者)
5	兄弟姉妹	6	祖父・祖母
7	子ども	8	子どもの配偶者
9	その他の親族	10	入所している施設の人
11	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	12	その他 ()

2 心身の状況について

問8 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりりできずか、それぞれどの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

	ひとりりできる	時間はかかるがひとりりできる	介助を少し必要とする	ひとりりできない(全面的に介助を必要とする)
1 家の中の移動	1	2	3	4
2 入浴	1	2	3	4
3 食事	1	2	3	4
4 トイレ	1	2	3	4
5 寝返り	1	2	3	4
6 着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど	1	2	3	4
7 家事(調理・掃除・洗濯等)	1	2	3	4
8 家族以外のひとの意思の疎通	1	2	3	4
9 お金の管理	1	2	3	4
10 薬の管理	1	2	3	4

問9 あなたが現在受けている医療の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 医療的ケアを受けている (問10で示す医療的処置を受けている)
2 服薬管理を受けている
3 訪問診療を受けている
4 訪問看護を受けている
5 定期的に通院して診療・医療処置・カウンセリング等を受けている
6 その他 ()
7 医療は受けていない

問9で「1 (医療的ケアを受けている)」と回答した人にお聞きします。》

問10 あなたが現在必要としている、医療的ケアの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 人工呼吸器の管理	2 気管切開部の処置
3 たん吸引	4 経管栄養(経鼻、胃ろう、腸ろう)
5 中心静脈栄養	6 導尿
7 点滴の管理	8 浣腸
9 排便	10 酸素補充療法
11 咽頭エアウェイ	12 インスリン注射
13 その他 ()	

3 障がい福祉サービスについて

《みなさまにお聞きします。》

問11 あなたは、現在、居宅介護などの障がい福祉サービス(障害者総合支援法)を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 利用している【→問12へ】
2 利用していないが、今後利用したい【→問13へ】
3 利用したいと思わない【→問13へ】

問11で「1 利用している」と回答した人にお聞きします。》

問12 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)に満足していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足している	おおよそ満足している	あまり満足していない	満足していない
1 サービスの量	1	2	3	4
2 サービスの内容	1	2	3	4
3 サービスの質	1	2	3	4
4 事業所の対応(わかりやすく説明してくれるかなど)	1	2	3	4

4 外出の状況について

《みなさまにお聞きします。》
問13 次のサービスについて、あてはまるものがあれば○をつけてください。

サービス	選択肢
① 居宅介護・ 重度訪問介護・ 重度障害者等包括支援	1. 利用しようとしてでき なかった（断られた） ことがある 2. 現在、利用していない が、これから利用した い
② 生活介護	1. 利用しようとしてでき なかった（断られた） ことがある 2. 現在、利用していない が、これから利用した い
③ 短期入所	1. 利用しようとしてでき なかった（断られた） ことがある 2. 現在、利用していない が、これから利用した い
④ 共同生活援助 (グループホーム)	1. 利用しようとしてでき なかった（断られた） ことがある 2. 現在、利用していない が、これから利用した い

問14 あなたは、障がい福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	利用の手続きが早くて簡単であること（利用手続きの簡素化、迅速化）
2	サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと
3	相談支援事業所に相談しやすくなること
4	グループホームや施設等へ入所するまでの待機時間の短縮
5	本人の障がい等に対応できる事業所が増えること
6	利用できる回数や時間が増えること
7	早朝・夜間・休日に利用できること
8	緊急時に対応してくれること
9	交通の便がよいこと
10	希望に応じて柔軟な対応をしてくれること
11	利用者負担を軽減すること
12	プライバシーが守られること
13	ヘルパーや支援員が親切に対応してくれること
14	利用できる事業所が見つかりやすいこと
15	その他（ ）

《みなさまにお聞きします。》
問15 外出の目的は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

1	買い物	2	友だちなどの家
3	趣味・レクリエーション	4	スポーツ
5	文化・芸術・教養活動	6	仕事
7	通院	8	施設などへの通所
9	その他（ ）	10	まったく外出しない

問16 外出するときに困っていることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

1	外出を介助してくれる人がいない
2	バリアフリー化された交通機関、駐車場が少ない
3	バリアフリー化された施設（建物）、トイレが少ない
4	歩道が歩きにくい（移動しにくい）
5	駅や道路の案内や表示がわかりづらい
6	交通費がかかる
7	人の目が気になる
8	困った時に周囲の人が助けてくれない
9	困った時に助けを求める会話が難しい
10	外出中に体調が悪くなること不安である
11	その他（ ）
12	特にない

問17 あなたは今後、特にどの施設（建物）を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 市役所、区役所等の官公庁施設 |
| 2 | 区民センター、地区センター、図書館、美術館、劇場等の社会教育施設 |
| 3 | 体育館、プール等の社会体育施設 |
| 4 | 病院、診療所等の医療施設 |
| 5 | ホテル、旅館等の宿泊施設 |
| 6 | 百貨店、デパート |
| 7 | スーパーマーケット |
| 8 | コンビニエンスストア |
| 9 | 飲食店 |
| 10 | 重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思ふ施設（建物）はない |

⇒問18へ

⇒問19へ

《問17で「1～9」を1つでも選んだ人にお聞きします》

問18 あなたは、問17で選択した施設（建物）について、今後、特にどの設備を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 建物への出入口（段差の解消、幅の確保等） |
| 2 | 建物内部の出入口（段差の解消、幅の確保等） |
| 3 | 建物内部の通路・廊下（段差の解消、幅の確保等） |
| 4 | 階段（手すりの設置等） |
| 5 | エレベーター（車いすで使いやすいエレベーター、音声案内の設置等） |
| 6 | トイレ（車いす利用者対応トイレの設置、多機能トイレ（注1）の設置等） |
| 7 | 駐車場（車いす利用者対応駐車スペースの設置等） |
| 8 | 敷地内の通路（段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の設置等） |
| 9 | その他（ ） |

注 1

車いす利用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト（人工肛門等保有者）対応設備、オムツ換えシート、ベビーチェアなどを備えたトイレのこと

5 仕事について

《みなさまにお聞きします。》

問19 あなたは現在、どのような形で仕事をしていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 一般就労をしている（職場に通勤して働いている）【→問20-1へ】 |
| 2 | 一般就労をしている（在宅で働いている）→【問20-1へ】 |
| 3 | 福祉的就労をしている（就労支援事業所、地域活動支援センター、地域共同作業所）【→問21-1へ】 |
| 4 | 仕事をしていない【→問22-1へ】 |

《問19で「1・2（一般就労をしている）」と答えた人にお聞きします》

問20-1 どのような雇用形態で仕事をしていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 正社員として働いている |
| 2 | 派遣社員・契約社員として働いている |
| 3 | パート・アルバイトとして働いている |
| 4 | 自営で仕事をしている・フリーランスで働いている |
| 5 | その他（ ） |

問20-2 あなたはどのようなようにして、現在の仕事に就きましたか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | ハローワークを利用した |
| 2 | 学校からの支援を受けた |
| 3 | 就労移行支援事業所の支援を受けた |
| 4 | 就労継続支援事業所の支援を受けた |
| 5 | 就業・生活相談支援事業所の支援を受けた |
| 6 | 相談支援事業所の支援を受けた |
| 7 | 親族や知人からの紹介を受けた |
| 8 | 自分で探して就職した |
| 9 | その他（ ） |

問20-3 あなたが現在の仕事を続けていくうえで、困っていることはありませんか。
あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 通勤するのが大変である
- 2 仕事の悩みを相談する場所がない (相談する場所がわからない)
- 3 仕事の量が多い・勤務時間が長い
- 4 仕事の内容が難しい
- 5 自分に向いた仕事ではない
- 6 給料が少ない
- 7 他の人よりも作業ができなくて肩身が狭い
- 8 職場で必要な介助・支援が得られない
- 9 通院や体調不良時の休暇をとりづらい
- 10 賃金や昇進の面で不利な扱いを受けている
- 11 職場の人間関係がうまくいかない
- 12 職場の障がいに対する理解が足りない
- 13 労働環境が悪い (冷暖房の状況なども含む)
- 14 困っていることはない
- 15 その他 ()

6

問19で「3 (福祉的就労をしている)」と答えた人にお聞きします。
問21-1 あなたが作業をするうえで困っていることはありませんか。
あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 通所するのが大変である
- 2 仕事の悩みを相談する場所がない (相談する場所がわからない)
- 3 仕事の量が多い・勤務時間が長い
- 4 仕事の内容が難しい
- 5 自分に向いた仕事ではない
- 6 給料・工賃が少ない
- 7 通院や体調不良時の休暇をとりづらい
- 8 職場の人間関係がうまくいかない
- 9 労働環境が悪い (冷暖房の状況なども含む)
- 10 困っていることはない
- 11 その他 ()

問21-2 あなたは今後、一般就労をしたいと思いませんか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 一般就労の希望があり、就職先を探している
- 2 一般就労の希望があり、今後、就職先を探そうとしている
- 3 現在の作業 (福祉的就労) を今後も続けたい

問20-4 あなたが現在の仕事を続けていくうえで、必要だと思うことはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 給料が安定している
- 2 勤務時間や日数を選ぶことができる
- 3 休暇がとりやすい
- 4 テレワークなどの在宅勤務ができる
- 5 ジョブコーチ・ジョブサポーター (仕事がいややすいように支援する専門員) がいる
- 6 上司や同僚が支援してくれる
- 7 企業が通勤・通所の交通手段を確保してくれる
- 8 職場で、必要な介助・支援が受けられる
- 9 障がい者を雇用する企業に行政が助成をする
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問19で「4（仕事をしていない）」と答えた人にお聞きします。

問22-1 あなたが仕事をしていない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----|---------------------|----|-------------------|
| 1 | 仕事をすると場所が見つからないから | 2 | 仕事をすると調子をくずすから |
| 3 | 職場への通勤や通所が困難だから | 4 | 職場内で必要な支援が得られないから |
| 5 | 医師や家族から止められているから | 6 | 意欲がわかないから |
| 7 | 自分がやりたい仕事が見つからないから | 8 | 障がいや病状からみて難しいと思っ |
| 9 | 給料などの条件が自分に合っていないから | 10 | 就職を支援してくれる人がいないから |
| 11 | その他（ ） | 12 | 特にない |

問22-2 あなたは今後、どのような形で仕事をしたいと思えますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 一般就労で仕事をしたい（正社員として） |
| 2 | 一般就労で仕事をしたい（派遣社員として） |
| 3 | 一般就労で仕事をしたい（パート・アルバイトとして） |
| 4 | 福祉的就労で作業をしたい |
| 5 | 個人で（自営で）仕事を始めたい |
| 6 | 仕事（作業）をしたいとは思わない |

問22-3 あなたが仕事を始める上で必要なことは何だと思えますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある |
| 2 | 就職や仕事に関する情報を教えてくれるところがある |
| 3 | 給料が安定している |
| 4 | 勤務時間や日数を選ぶことができる |
| 5 | 休暇がとりやすい |
| 6 | テレワークなどの在宅勤務ができる |
| 7 | ジョブコーチ・ジョブサポーター（仕事がしやすいように支援する専門員）がいる |
| 8 | 上司や同僚が支援してくれる |
| 9 | 企業が通勤・通所の交通手段を確保してくれる |
| 10 | 職場で、必要な介助・支援が受けられる |
| 11 | 障がい者を雇用する企業に行政が助成をする |
| 12 | その他（ ） |

6 《みなさまにお聞きします。》

《みなさまにお聞きします。》

問23 あなたは、民間のアパート、公営住宅（道営・市営）などに入居するまでや入居後に困ったことはありませんか。また、それは、どのようなことでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 入居できる物件のことがよくわからなかった |
| 2 | 家主から入居を断られた |
| 3 | 保証人が見つからなかった |
| 4 | 住宅改修に関する情報を教えてくれたり相談できたりするところが見つからなかった |
| 5 | 近所の人の障がいに対する理解が不足していた |
| 6 | 事故など緊急時に支援が得られなかった |
| 7 | その他（ ） |
| 8 | 困ったことはない |
| 9 | 民間のアパートなどに住んだことがない（家族または自分の持ち家に住んでいる）。 |

問24 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------|---|-----------|
| 1 | 家族または自分の持ち家 | 2 | 民間のアパートなど |
| 3 | 市営住宅・道営住宅 | 4 | グループホーム |
| 5 | 入所施設（障害者支援施設） | 6 | その他（ ） |

7 《みなさまにお聞きします。》

《みなさまにお聞きします。》

問25 平成30年9月の北海道胆振東部地震の際、あなたは避難しましたか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 避難場所（避難した）【→問26へ】 |
| 2 | 避難場所以外の場所に避難した【→問27へ】 |
| 3 | 避難する必要がなかったため自宅にいた【→問27へ】 |
| 4 | 避難したかったができなかったため自宅にいた【→問27へ】 |
| 5 | その他（ ）【→問27へ】 |

問25で「1（避難場所に避難した）」と答えた人にお聞きします》
 問26 あなたは、避難場所に必要な支援を受けることができましたか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 必要な支援を受けられた
- 2 必要な支援を受けられなかった
- 3 支援は必要なかった

《みなさまにお聞きします。》

問27 あなたは平成30年9月の北海道胆振東部地震の際に、困ったことはありませんでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 ヘルパーが来なかったので必要な支援を受けられなかった
- 2 通所サービスが休みになったので必要な支援を受けられなかった
- 3 携帯電話などの充電ができなかった
- 4 被害や避難に関する情報が得られなかった
- 5 助けを求めたかったが、誰からも声をかけられず、孤立してしまったり
- 6 食料や水がなくなるのではないかと不安だった
- 7 医療機器や電動ベッドが使えなかった
- 8 精神状態が不安定になった
- 9 薬がなくなるのではないかと不安だった
- 10 透析などの医療を受けられる場所があるか不安だった
- 11 その他（ ）
- 12 特に困ったことはなかった

問28 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアの人にあなたの避難の手伝いをお願いしたいと思いませんか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ぜひお願いしたい
- 2 個人情報提供したくないが、いざというときには手伝ってほしい
- 3 近所の人に手伝ってもらうことには抵抗がある
- 4 ひとりでは避難できないので、近所の人との協力は必要ない
- 5 家族や知人に手伝ってもらえるので、近所の人との協力は必要ない
- 6 その他（ ）
- 7 わからない

問29 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家具やガラス類の安全対策
- 2 食料や飲料水の備え（3日間以上）
- 3 身分証（障がい者手帳や緊急連絡先カードなど）の携帯
- 4 非常持出品（食料、飲料水、救急セットなど）の用意
- 5 日頃の近所付き合い
- 6 地域の防災訓練への参加
- 7 避難場所・避難経路の把握
- 8 災害時、避難を手伝ってくれる人が決まっている
- 9 いつも飲んでいる薬や医療機器（酸素ボンベなど）の用意
- 10 非常用電源の用意
- 11 札幌市防災アプリ（そなえ）（注1）のダウンロード
- 12 特に備えをしていない
- 13 その他（ ）

注1 避難場所がどこにあるかなどを確認できるスマートフォン用防災アプリのこと。

問30 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 災害発生時に手助けしてくれる人がいない
- 2 災害の情報や避難場所がどこにあるかなどの情報を十分に得られない
- 3 避難経路・避難場所がバリアフリーになっていない
- 4 避難場所に必要な支援を受けられるか不安
- 5 その他 ()
- 6 特に不安を感じていない

問31 避難場所について、あなたが望んでいることは、どのようなことでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一般避難場所（注1）で、福祉避難スペース（注2）を確保してほしい
- 2 一般避難場所、十分な飲用水や食料などを確保してほしい
- 3 一般避難場所に、福祉の相談員を配置してほしい
- 4 一般避難場所、障がい者の特性や程度に配慮した対応してほしい
- 5 一般避難場所の経路やトイレを障がい者に配慮したものにしてほしい
- 6 その他 ()
- 7 望んでいることはない

注1 避難者が一時的に滞在する場所（市立小中学校等）のこと。
注2 一般避難所で空き教室などに設けられる要配慮者向けのスペースのこと。

8 文化・芸術について

《みなさまにお聞きします。》
問32 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）
- 2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）
- 3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
- 5 映画（アニメを除く）
- 6 アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアートなど）
- 7 伝統芸能（雅楽、能楽、音楽、文楽、歌舞伎など）
- 8 芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）
- 9 歴史的な建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
- 10 その他 ()
- 11 鑑賞したものはない【→問33へ】
- 12 わからない

《問32で「11（鑑賞したものはない）」と回答した人にお聞きします。》
 問33 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった一番の理由はどのようなものでか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 近くで講演や展覧会などを開催していないから
- 2 入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから
- 3 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから
- 4 時間がなかなかとれないから
- 5 夜間に公演や展覧会などが行われないから
- 6 公演や展覧会などの情報が入手できないから
- 7 一緒に行く保護者・友達などがいないから
- 8 テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から
- 9 周りに迷惑をかけるのではないかと心配だから
- 10 送迎サポートがないから
- 11 介助者がいないとチケットの購入や鑑賞が難しいから
- 12 エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから
- 13 エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策がされているか否かの情報が入手できないから
- 14 字幕表示等の鑑賞サポートが不十分だから
- 15 関心がないから
- 16 その他（)
- 17 特になし

《みなさまにお聞きします。》
 問34 あなたは過去1年間に文化芸術に関わる活動を実施しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽の演奏や合唱
- 2 美術作品の創作（絵画、陶芸、書道など）
- 3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（ダンス、バレエなど）
- 5 文学作品の創作（詩、小説など）
- 6 茶道・華道
- 7 地域の芸能や祭りへの参加
- 8 その他（)
- 9 活動していない 【→問35へ】

《問34で「9（活動していない）」と回答した人にお聞きします。》
 問35 あなたが活動を実施しなかった一番の理由はなんでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 他の活動で充実しているから
- 2 身辺に関心のある活動が行われていないから
- 3 仕事などで忙しく時間がいないから
- 4 経済的な余裕がないから
- 5 活動のための技術が学ぶのが難しいから
- 6 活動場所がバリアフリーになっていないから
- 7 送迎、手話通訳、点字など、サポートが不十分だから
- 8 文化芸術活動に関心がないから
- 9 その他（)

《みなさまにお聞きします。》
 問36 あなたは、障がいのある人による文化芸術活動の推進について、何が重要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 文化芸術施設のバリアフリー情報を周知する
- 2 文化芸術施設のバリアフリー化を進める
- 3 作品等を発表する機会を増やす
- 4 芸術価値が高い作品等を適正に評価する
- 5 著作権等権利保護の推進
- 6 作品等の創作・発表を支援する
- 7 芸術上価値が高い作品等の販売に係る支援
- 8 文化芸術活動を通じた交流の機会を増やす
- 9 文化芸術に関する相談体制を整える
- 10 文化芸術活動を支援してくれる人材の育成（通訳、送迎、サポーター）
- 11 その他（)
- 12 わからない

9 スポーツについて

《みなさまにお聞きします。》

問37 あなたは、過去1年間に、やったことがある運動（スポーツ）はどれですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	散歩	2	ウォーキング
3	ランニング（ジョギング）	4	サイクリング
5	トレニング（室内運動器具の使用を含む）	6	体操（ラジオ体操、なわとびなど）
7	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	8	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）
9	スキー、スケート、カーリング	10	水泳
11	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	12	卓球
13	バドミントン	14	テニス、ソフトテニス
15	野球・キヤッチボール	16	サッカー、フットサル
17	バレーボール	18	バスケットボール
19	ソフトボール	20	ボウリング
21	ラゲビー	22	パークゴルフ
23	フライングディスク	24	ボッチャ
25	弓道、アーチェリー	26	その他（ ）
27	行わなかった		

問37で「1～26」を1つでも選んだ人にお聞きします。》

問38 あなたは、過去1年間に、どれくらい運動（スポーツ）をしましたか。

あてはまるものひとつに○をつけてください。

1	週3回以上	2	週1～2回程度
3	月1～3回程度	4	月1回未満（年に数回程度）

《みなさまにお聞きします。》

問39 あなたの運動（スポーツ）を行う目的はなんですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

1	健康の維持、増進	2	気分転換、ストレス解消
3	楽しみ	4	友人や家族との交流
5	健康者との交流	6	体型維持、改善
7	リハビリテーションの一環	8	目標や記録への挑戦
9	その他（ ）	10	スポーツをしない

10 制度や政策等について

《みなさまにお聞きします。》

問40 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	深まっていると思う	2	まあまあ深まっていると思う
3	どちらともいえない	4	あまりそう思わない
5	まったく思わない		

問41 あなたは過去3年間で、障がいがあるために差別をうけるなど、いやな思いをしたことがありますか。

1	ある【→問42へ】	2	ない【→問43へ】
---	-----------	---	-----------

問41で「1」と回答した人にお聞きします。》

問42 それほどのようなことでありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	じろじろ見られた
2	いやなことを言われた
3	暴力をふるわれた
4	仲間はずれにされた
5	施設の利用や交通機関への乗車を拒否された
6	病院で円滑に診療を受けられなかった
7	その他（ ）

《みなさまにお聞きします。》

問43 札幌市では、「ヘルプマーク」を配布しております。これは、外見からは障がいがあることがわからない人などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なることを知らせることができマーク（赤地に白色の＋と♡）です。

あなたは、このマークがあることを知っていましたか。

1	マークの意味も含めて知っていた
2	詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった
3	知らなかった



※イメージ

問44 札幌市では、「ヘルプカード」を配布しております。これは、緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、緊急時、災害時などに周りの援助や配慮をお願いしやすくなるカードです。

あなたは、このカードがあることを知っていましたか。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | カードの意味も含めて知っていた |
| 2 | 詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった |
| 3 | 知らなかった |

問45 あなたや保護者の方は、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース |
| 2 | 行政機関の広報誌 |
| 3 | インターネット（パソコン） |
| 4 | インターネット（スマートフォン等の携帯端末） |
| 5 | 家族や親せき、友人・知人 |
| 6 | 相談支援事業所などの民間の相談窓口 |
| 7 | 福祉サービス事業所の人や施設職員 |
| 8 | かかりつけの医師や看護師 |
| 9 | 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー |
| 10 | 民生委員・児童委員 |
| 11 | 障がい者団体等（家族会、患者会、各団体の機関紙を含む） |
| 12 | 行政機関の相談窓口 |
| 13 | その他（ ） |

問46 あなたは、各種障害者手帳をカード化した方が良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をしてください。

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | カード化した方がよい【→問47へ】 |
| 2 | カード化しない方がよい【→問48へ】 |
| 3 | どちらでもよい【→問49へ】 |

問47 《問46で「1」と回答した人にお聞きします。》
あなたが各種障害者手帳をカード化した方がよいと思う理由はなんでしょうか。
あてはまるもの1つに○をしてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 小さくて持ち運びしやすくなる |
| 2 | 耐久性に優れている |
| 3 | 提示しやすくなる |
| 4 | その他（ ） |

問48 《問46で「2」と回答した人にお聞きします。》
あなたが各種障害者手帳をカード化しない方がよいと思う理由はなんでしょうか。
あてはまるもの1つに○をしてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 小さく紛失しやすい |
| 2 | 記載事項が小さく見えづらい |
| 3 | 既存の手帳型が使いやすい |
| 4 | その他（ ） |

《みなさまにお聞きします。》

問49 あなたは、相談機関に関して、どのようなことがあれば、利用しやすいと思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 身近な相談機関が増えること |
| 2 | 長時間待つことなく相談に応じてくれること |
| 3 | 相談員等の専門性を高めること |
| 4 | インターネットやSNS（注1）を通して利用できること |
| 5 | プライバシーを守ってくれること |
| 6 | 夜間・緊急時に対応してくれること |
| 7 | その他（ ） |
| 8 | 特になし |

注1 FacebookやTwitterなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと。

問50 あなたが今後、希望する生活をjつするために、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 ホームヘルプサービスや通所サービスが充実すること
- 2 外出に関する支援が充実すること
- 3 家族が介助できない時などに利用する短期入所施設等が充実すること
- 4 重度の障がい者や医療的ケアが必要な人のサービスの充実すること
- 5 補装具や日常生活用具など福祉用具が充実すること
- 6 コミュニケーションに関する支援が充実すること
- 7 年金や手当、経済的な負担軽減
- 8 医療やリハビリテーションの充実
- 9 住まいの場が充実すること
- 10 スポーツ、レクリエーション、文化活動の充実
- 11 仕事や作業の場が充実すること
- 12 まわりの人が自分の障がいを理解してくれること
- 13 障がいに対する偏見をなくし理解が深まるための啓発
- 14 生活するのに必要なことを練習できる場所があること
- 15 困ったときに相談事を聞いてくれて助言してくれること
- 16 必要な情報を簡単に入手することができること
- 17 高齢になっても安心して生活できること
- 18 その他 ()
- 19 特になし

問51 あなたは、将来について、どのようなことがあれば、高齢になっても安心して生活できると思いますか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- 1 身近に介助や支援をしてくれる人がいること
- 2 希望すればグループホームや入所施設に入れること
- 3 金銭管理の支援を受けられること
- 4 必要な医療がすぐに受けられること
- 5 経済的な保証があること
- 6 現在受けているサービスが継続されること
- 7 その他 ()
- 8 特になし

11 共生社会の在り方について

《みなさまにお聞きます。》

問52 札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支えあう共生社会の実現を目指しています。あなたが考える「共生社会」とはどのような社会ですか。共生社会のイメージについて自由にご記入ください。

問53 あなたが考える「共生社会」の実現のためには、どのような施策が必要ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 障がいのある人が利用する障がい福祉サービスの充実
- 2 障がいのある人の就業機会の充実
- 3 障がいのある人のスポーツ活動の充実
- 4 障がいのある人の文化・芸術活動の充実
- 5 その他障がいのある人の社会参加の充実
- 6 建築物・交通機関等のバリアフリー化の推進
- 7 心のバリアフリー化（障がい等に対する理解の促進）の推進
- 8 インクルーシブ教育（注1）の充実
- 9 地域住民同士の助け合いが充実した社会の推進
- 10 障がいのある人となない人が一緒に楽しめるイベント等の充実
- 11 障がい福祉等に関係する情報提供の充実
- 12 その他 ()

注1 インクルーシブとは「包括的な、包み込む」という意味の英語で、障がいの有無等によって学ぶ場や環境を分けられることなく、一人ひとりの能力や苦手さと向き合いながら共に学ぶ教育のこと。

問54 その他ご意見やご要望があればご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。
記入もないか確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて
令和元年11月11日（月曜日）までに投函してください。

さっぽろし
札幌市

ほけんふんくし かん
保健福祉に関するアンケート調査

ひ ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、障がいのある人の状況やご意見をお聞かせいただき、今後の障がい者施策の推進に役立てるために「保健福祉に関する調査」を実施することとしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は令和元年9月1日現在、障がい者手帳または特定医療費(指定難病)受給者証をお持ちの18歳未満の方から、無作為に抽出して(くじ引きのような方法で選んで)、保護者様あてにお送りしたものです。

ご回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。本調査票については、お子様に障がいがあることを明かしてはいけないことも考慮し、保護者様あてにお送りしました。本アンケート調査票の取扱には、ご注意ください。

ご回答にあたって

- ① 封筒のカッコ書きのあて名(お子様)について、ご回答ください。
※この調査票での「あなた」は、カッコ書きのあて名(お子様)ご本人のことです。
- ② ご本人が年少の場合や、病气や障がいなどの理由で回答できなない場合は、ご家族や介助者の人がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 令和元年9月1日現在の状況で記入してください。
- ④ 記入していただいたアンケートは、同封している返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、令和元年11月11日(月曜日)までに、投函してください。
(名前を書く必要はありません。)

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
担当：清家、河原

TEL011-231-3053/Fax011-231-3143

さっぽろし いたくきよむ
(札幌市委託業務)

さっぽろし けんふんくし せきまく
札幌市保健福祉局

問 この調査票に回答される人はどなたですか。あてはまるものに○をつけてください。

- 1 カッコ書きあて名(お子様)ご本人(ご本人の回答を他の人が代筆される場合を含む)
- 2 ご家族の人
- 3 その他()

1 あなたの性別、世帯の状況について

問 あなたの性別に○をつけてください。

- 1 男 2 女
- 3 その他

問 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 3歳未満 2 3歳～4歳
- 3 5歳～9歳 4 10歳～14歳
- 5 15歳～17歳

問 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 家族の持ち家 2 民間のアパートなど
- 3 市営住宅 4 通営住宅、公団の住宅
- 5 学校の寮 6 入所施設
- 7 病院に入院中 8 その他()

問 あなたが持っている障がい者手帳の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳 1級または2級 2 身体障害者手帳 3級または4級
 - 3 身体障害者手帳 5級または6級 4 療育手帳 A(重度または軽度)
 - 5 療育手帳 B(中度) 6 療育手帳 B(軽度)
 - 7 精神障害者保健福祉手帳 1級 8 精神障害者保健福祉手帳 2級
 - 9 精神障害者保健福祉手帳 3級 10 自立支援医療(精神通院医療受給者証)
 - 11 特定医療費(指定難病) 12 上記のいずれれも持っていない
- 受給者証または特定疾患医療受給者証

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	視覚障がい	2	聴覚障がい
3	平衡機能障がい	4	音声・言語・そしゃく機能障がい
5	肢体不自由(上肢)	6	肢体不自由(下肢)
7	肢体不自由(体幹)	8	脳病変による運動機能障害(上肢)
9	脳病変による運動機能障害(移動)	10	心臓機能障がい
11	じん臓機能障がい	12	呼吸器機能障がい
13	小腸機能障がい	14	ぼうこう・直腸機能障がい
15	免疫機能障がい	16	肝臓機能障がい
17	知的障がい	18	重症心身障がい
19	統合失調症	20	気分障がい(うつ病、躁病など)
21	中毒性精神障がい (アルコール等)	22	心因性精神障がい (心因反応、パニック障害等)
23	パーソナリティ(人格)障がい	24	認知症
25	てんかん	26	発達障がい
27	高次脳機能障がい	28	難病
29	化学物質過敏症	30	その他()

問6 家族のことについてお答えください。

- (1) あなたは何人家族ですか。
あなたを含めて 人家族
- (2) いっしょに住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	父	2	母
3	兄弟姉妹	4	祖父・祖母
5	その他の親族	6	施設に入所中
7	その他()	8	いない(ひとり暮らし)

(3) 保護者の方にお聞きします。あなたの身近な相談相手はどのような人ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	家族	2	親戚・友人
3	相談支援事業所	4	福祉サービス事業所の職員
5	保母士・教職員	6	かかりつけ医
7	訪問看護ステーション等の看護師	8	病院のソーシャルワーカー
9	区役所職員	10	その他()

2 心身の状況について

問7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりですべてできますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	ひとりですべてできる	時間はかかるがひとりですべてできる	介助を少し必要とする	ひとりですべてできない (定期的に介助を必要とする) 注1
1	家の中の移動	1	2	3
2	入浴	1	2	3
3	食事	1	2	3
4	トイレ	1	2	3
5	寝返り	1	2	3
6	着替えや洗顔、 歯みがきなど	1	2	3
7	家族以外の人との 意思の疎通	1	2	3
8	お金の管理	1	2	3
9	薬の管理	1	2	3

注1 通常の発達において必要とされる介助等は除きます。

問8 あなたが現在受けている医療の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	医療的ケアを受けている (問9で示す医療的処置を受けている)
2	服薬管理を受けている
3	訪問診療を受けている
4	訪問看護を受けている
5	定期的に通院して診療・医療処置・カウンセリング等を受けている
6	その他()
7	医療は受けていない

《問8で「1（医療的ケアを受けている）」と回答した人にお聞きします。》
 問9 あなたが現在必要としている、医療的ケアの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	人工呼吸器の管理	2	気管切開部の処置
3	たん吸引	4	経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろう）
5	中心静脈栄養	6	導尿
7	点滴の管理	8	浣腸
9	排便	10	酸素補充療法
11	咽頭エアウェイ	12	インスリン注射
13	その他（ ）		

3 障がい福祉サービスについて

《みなさまにお聞きします。》
 問10 あなたは現在、居宅介護などの障がい福祉サービス（障害者総合支援法）、児童発達支援などの障がい児通所支援（児童福祉法）を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	利用している【→問11へ】
2	利用していないが、今後利用したい【→問12へ】
3	利用したいと思わない【→問12へ】

《問10で「1（利用している）」と回答した人にお聞きします。》
 問11 あなたや保護者の方は、現在受けている障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足している	おおむね満足している	あまり満足していない	満足していません
1 サービスの量	1	2	3	4
2 サービスの内容	1	2	3	4
3 ヘルパーの技術	1	2	3	4
4 事業所の対応（わかりやすく説明してくれるかなど）	1	2	3	4

《みなさまにお聞きします。》
 問12 次のサービスについて、あてはまるものがあれば○をつけてください。

サービス	選択肢
① 児童発達支援 放課後等デイサービス	1. 利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある 2. 現在、利用していないが、これから利用したい
② 居宅介護・ 重度障害者等包括支援	1. 利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある 2. 現在、利用していないが、これから利用したい
③ 短期入所	1. 利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある 2. 現在、利用していないが、これから利用したい

問13 あなたや保護者の方は、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	利用の手続きが早くて簡単であること（利用手続きの簡素化、迅速化）
2	サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと
3	相談支援事業所に相談しやすくなること
4	グループホームや施設に入所するまでの待機時間の短縮
5	本人の障がいなどに対応できる事業所が増えること
6	利用できる回数や時間が増えること
7	早朝・夜間・休日にご利用できること
8	緊急時に対応してくれること
9	交通の便がよいこと
10	希望に応じて柔軟な対応をしてくれること
11	利用者負担を見直すこと
12	プライバシーが守られること
13	ヘルパーや支援員が親切に対応してくれること（資質の向上）
14	利用できる事業所が見つかりやすいこと
15	その他（ ）

4 外出の状況について

問14 外出の目的は何ですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------|
| 1 買い物 | 2 友だちなどの家 |
| 3 あそび | 4 スポーツ |
| 5 習い事 | 6 通学・通園 |
| 7 通院 | 8 施設などへの通所 |
| 9 その他 | 10 まったく外出しない |

問15 外出するときに困っていることは何ですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 外出を介助してくれる人がいない |
| 2 バリアフリー化された交通機関、駐車場が少ない |
| 3 バリアフリー化された施設(建物)、トイレが少ない |
| 4 歩道が歩きにくい(移動しにくい) |
| 5 駅や道路の案内や表示がわかりづらい |
| 6 交通費がかかると |
| 7 人の目が気になる |
| 8 困った時に周囲の人が助けてくれない |
| 9 外出中に体調が悪くなること不安である |
| 10 その他 () |
| 11 特にない |

《みなさんにお聞きします》

問16 あなたは今後、特にどの施設(建物)を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 市役所、区役所等の官公庁施設 |
| 2 区民センター、地区センター、図書館、美術館、劇場等の社会教育施設 |
| 3 体育館、プール等の社会体育施設 |
| 4 病院、診療所等の医療施設 |
| 5 ホテル、旅館等の宿泊施設 |
| 6 百貨店、デパート |
| 7 スーパーマーケット |
| 8 コンビニエンスストア |
| 9 飲食店 |
| 10 重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思わない施設(建物)はない |

《問16で「1～9」をひとつでも選んだ人にお聞きします》

問17 あなたは、問16で選択した施設(建物)について、今後、特にどの設備を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 建物への出入口(段差の解消、幅の確保等) |
| 2 建物内部の出入口(段差の解消、幅の確保等) |
| 3 建物内部の通路・廊下(段差の解消、幅の確保等) |
| 4 階段(手すりの設置等) |
| 5 エレベーター(車いすで使いやすいエレベーター、音声案内の設置等) |
| 6 トイレ(車いす利用者対応トイレの設置、多目的トイレ(注1)の設置等) |
| 7 駐車場(車いす利用者対応駐車スペースの設置等) |
| 8 敷地内の通路(段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)の設置等) |
| 9 その他 () |

注1

車いす利用者利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト(人工肛門等保有者)対応設備、オムツ換えシート、ペーパーチェアなどを備えたトイレのこと

学校・日中の過ごし方などについて

《みなさまにお聞きます。》

問18 あなたは、平日の昼間を主にどこで過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 自宅で過ごしている
- 2 保育所、幼稚園、学校等に通っている
- 3 福祉施設に通所・入所している
- 4 祖父母や親戚の家で過ごしている
- 5 その他 ()

問19 あなたは将来、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 家族または自分の持ち家
- 2 民間のアパートなど
- 3 市営住宅
- 4 運営住宅、公団の住宅
- 5 グループホーム
- 6 入所施設 (障害者支援施設)
- 7 その他 ()

問20 保護者の方にお聞きます。今後の教育や療育について、どのような点に力を入れたらいいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 義務教育前の通園施設の整備
- 2 義務教育前の入所施設の整備
- 3 通常の学級、保育所、幼稚園への受入れ体制の充実
- 4 通園、通学時の介助支援
- 5 障がいに対応した教育内容の充実
- 6 特別支援学校の整備
- 7 特別支援学級の整備
- 8 義務教育中の入所施設の整備
- 9 放課後対策の充実
- 10 義務教育終了後の通所施設の整備
- 11 義務教育終了後の入所施設の整備
- 12 義務教育終了後の進路 (就職先など) の確保
- 13 さまざまな相談を受けられる体制の整備
- 14 その他 ()

防災について

《みなさまにお聞きます。》

問21 平成30年9月の北海道胆振東部地震の際、あなたは避難しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 避難場所に避難した【→問22へ】
- 2 避難場所以外の場所に避難した【→問23へ】
- 3 避難する必要がなかったため自宅にいた【→問23へ】
- 4 避難したかったができなかったため自宅にいた【→問23へ】
- 5 その他 () 【→問23へ】

問22 《問21で「1 避難場所に避難した」と回答した方にお聞きます。》

問22 あなたは、避難場所に必要な支援を受けることができましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 必要な支援を受けられた
- 2 必要な支援を受けられなかった
- 3 支援は必要なかった

《みなさまにお聞きます。》

問23 平成30年9月の北海道胆振東部地震の際に、あなたや保護者の方が困ったことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 ヘルパーが来なかったため必要な支援を受けられなかった
- 2 通所サービスが休みにになったため必要な支援を受けられなかった
- 3 携帯電話などの充電ができなかった
- 4 被害や避難に関する情報が得られなかった
- 5 助けを求めたかったが、誰からも声をかけられなかった
- 6 食料や水がなくなるのではないかと不安だった
- 7 医療機器や電動ベッドが使えなかった
- 8 精神状態が不安定になった
- 9 薬がなくなるのではないかと不安だった
- 10 透析などの医療を受けられる場所があるか不安だった
- 11 その他 ()
- 12 特に困ったことはなかった

問24 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアの人にあなたの避難の手伝いをお願いしたいと思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | ぜひお願いしたい |
| 2 | 個人情報を提供したくないが、いざというときには手伝ってほしい |
| 3 | 近所の人に手伝ってもらおうことには抵抗がある |
| 4 | ひとりでは避難できるので、近所の人との協力は必要ない |
| 5 | 家族や知人に手伝ってもらえるので、近所の人との協力は必要ない |
| 6 | その他 () |
| 7 | わからない |

問25 あなたや保護者の方は、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 家具やガラス類の安全対策 |
| 2 | 食料や飲料水の備え (3日間以上) |
| 3 | 身分証 (障がい者手帳や緊急連絡先カードなど) の携帯 |
| 4 | 非常持出品 (食料、飲料水、教習セットなど) の用意 |
| 5 | 日頃の近所付き合い |
| 6 | 地域の防災訓練への参加 |
| 7 | 避難場所・避難経路の把握 |
| 8 | 災害時、避難を手伝ってくれる人が決まっている |
| 9 | いつも飲んでいる菓や医療機器 (酸素ボンベなど) の用意 |
| 10 | 非常用電源の用意 |
| 11 | 札幌市防災アプリ (そなえ) (注1) のダウンロード |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特に備えをしていない |

注1 避難場所がどこにあるかなどを確認できるスマートフォン用防災アプリのこと。

問26 あなたや保護者の方は、防災に関して不安に感じていることはありませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 災害発生時に手助けしてくれる人がいない |
| 2 | 災害の情報や避難場所がどこにあるかなどの情報を十分に得られない |
| 3 | 避難経路・避難場所がバリアフリーになっていない |
| 4 | 避難場所に必要な支援を受けられるか不安 |
| 5 | その他 () |
| 6 | 特に不安は感じていない |

問27 避難場所について、あなたや保護者の方が望んでいることは、どのようなことでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 一般避難場所 (注1) で、福祉避難スペース (注2) を確保してほしい |
| 2 | 一般避難場所、十分な飲用水や食料などを確保してほしい |
| 3 | 一般避難場所に、福祉の相談員を配置してほしい |
| 4 | 一般避難場所、障がいの特性や程度に配慮した対応をしてほしい |
| 5 | 一般避難場所の経路やトイレを障がい児に配慮したものにしてほしい |
| 6 | その他 () |
| 7 | 望んでいることはない |

注1 避難者が一時的に滞在する場所 (市立小中学校等) のこと。

注2 一般避難場所で空き教室などに設けられる要配慮者向けのスペースのこと。

7 文化・芸術について

問28 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽 (オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)
- 2 美術 (絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)
- 3 演劇 (現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)
- 4 舞踊 (日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど)
- 5 映画 (アニメを除く)
- 6 アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート (メディアアートなど)
- 7 伝統芸能 (雅楽、能楽、音楽、歌舞伎など)
- 8 芸能 (講談、落語、浪曲、漫才など)
- 9 歴史的な建物や遺跡 (建造物、遺跡、名勝地 (庭園など) の文化財)
- 10 その他 ()
- 11 鑑賞したものはない 【→問29へ】
- 12 わからない

問29 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった一番の理由はどのようなものですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 近くで講演や展覧会などを開催していないから
- 2 入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから
- 3 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから
- 4 時間がなかなかなれないから
- 5 夜間に公演や展覧会などが行われないから
- 6 公演や展覧会などの情報が入手できないから
- 7 一緒に行く保護者・友達などがいないから
- 8 テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できるから
- 9 周りに迷惑をかけるのではないかと心配だから
- 10 送迎サポートがないから
- 11 介助者がいないとチケットの購入や鑑賞が難しいから
- 12 エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから
- 13 エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策がされているか否かの情報が入手できないから
- 14 字幕表示等の鑑賞サポートが不十分だから
- 15 関心がないから
- 16 その他 ()
- 17 特にない

《みなさまにお聞きします。》

問30 あなたは過去1年間に文化芸術に関わる活動を実施しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽の演奏や合唱
- 2 美術作品の創作 (絵画、陶芸、書道など)
- 3 演劇 (現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)
- 4 舞踊 (ダンス、バレエなど)
- 5 文学作品の創作 (詩、小説など)
- 6 茶道・華道
- 7 地域の芸能や祭りへの参加
- 8 その他 ()
- 9 活動していない 【→問31へ】

問31 《問30で「9 活動していない」と回答した人にお聞きします。》

あなたが活動を実施しなかった一番の理由はなんですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 他の活動で充実しているから
- 2 身近に関心のある活動が行われていないから
- 3 仕事などで忙しく時間がないから
- 4 経済的な余裕がないから
- 5 活動のための技術を学ぶのが難しいから
- 6 活動場所がバリアフリーになっていないから
- 7 送迎、手話通訳、点字など、サポートが不十分だから
- 8 文化芸術活動に関心がないから
- 9 その他 ()

《みなさまにお聞きします。》
 問35で「1 (ある)」と回答した人にお聞きします。》
 問36 それはどのようなことですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 じろじろ見られた
- 2 いやなことを言われた
- 3 暴力をふるわれた
- 4 仲間はづれにされた
- 5 施設の利用や交通機関への乗車を拒否された
- 6 病院で円滑に診療を受けられなかった
- 7 その他 ()

《みなさまにお聞きします。》

問37 札幌市では、「ヘルプマーク」を配布しております。これは、外見からは障がいがあることがわからない人などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なることを知らせることができるマーク (赤地に白色の+と♥) です。



※イメージ

あなたや保護者の方は、このマークがあることを知っていましたか。

- 1 マークの意味も含めて知っていた
- 2 詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった
- 3 知らなかった

問38 札幌市では、「ヘルプカード」を配布しております。これは、緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、緊急時、災害時などに周りの援助や配慮をお願いしやすくなるカードです。あなたや保護者の方は、このカードがあることを知っていましたか。

- 1 カードの意味も含めて知っていた
- 2 詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった
- 3 知らなかった

《みなさまにお聞きします。》
 問32 あなたや保護者の方は、障がいのある人による文化芸術活動の推進について、何が必要だと思えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 文化芸術施設のバリアフリー情報を知する
- 2 文化芸術施設のバリアフリー化を進める
- 3 作品等を発表する機会を増やす
- 4 芸術価値が高い作品等を適正に評価する
- 5 著作権等権利保護の推進
- 6 作品等の創作・発表を支援する
- 7 芸術上価値が高い作品等の販売に係る支援
- 8 文化芸術活動を通じた交流の機会を増やす
- 9 文化芸術に関する相談体制を整える
- 10 文化芸術活動を支援してくれる人材の育成 (通訳、送迎、サポーター)
- 11 その他 ()
- 12 わからない

8 制度や政策等について

問33 あなたや保護者の方は、札幌市が障がいのある子どもが暮らしやすいまぢだと思えますか。あてはまるものを1つに○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 まあそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 まったく思わない

問34 あなたや保護者の方は、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思えますか。あてはまるものを1つに○をつけてください。

- 1 深まっていると思う
- 2 まあまあ深まっていると思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 まったく思わない

問35 あなたや保護者の方は、過去3年間に、障がいがあるために差別をうけるなど、いやな思いをしたことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

問39 あなたや保護者の方は、障がいまたは障がい者が福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース |
| 2 | 行政機関の広報誌 |
| 3 | インターネット（パソコン） |
| 4 | インターネット（スマートフォン等の携帯端末） |
| 5 | 家族や親せき、友人・知人 |
| 6 | 福祉サービス事業所の人や施設職員 |
| 7 | 障がい者団体等（家族会、患者会、各団体の機関紙を含む） |
| 8 | かかりつけの医師や看護師 |
| 9 | 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー |
| 10 | 民生委員・児童委員 |
| 11 | 通園施設や保育所等、認定こども園、幼稚園、学校の先生 |
| 12 | 相談支援事業所などの民間の相談窓口 |
| 13 | 行政機関の相談窓口 |
| 14 | その他（ ） |

問40 あなたや保護者の方は、各種障害者手帳をカード化した方が良いと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | カード化した方がよい【→問41へ】 |
| 2 | カード化しない方がよい【→問42へ】 |
| 3 | どちらでもよい【→問43へ】 |

問40で「1（カード化した方がよい）」と回答した人にお聞きします。》

問41 各種障害者手帳をカード化した方がよいと思う理由はなんですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 小さくて持ち運びしやすくなる |
| 2 | 耐久性に優れている |
| 3 | 提示しやすくなる |
| 4 | その他（ ） |

問40で「2（カード化しない方がよい）」と回答した人にお聞きします。》

問42 各種障害者手帳をカード化しない方がよいと思う理由はなんですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 小さく紛失しやすい |
| 2 | 記載事項が小さく見えづらい |
| 3 | 既存の手帳型が使いやすい |
| 4 | その他（ ） |

《みなさまにお聞きします。》

問43 あなたや保護者の方は、相談機関に関して、どのようなことがあれば、利用しやすいと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 身近な相談機関が増えること |
| 2 | 長時間待つことなく相談に応じてくれること |
| 3 | 相談員等の専門性を高めること |
| 4 | インターネットやSNS（注1）を通して利用できること |
| 5 | プライバシーを守ってくれること |
| 6 | 夜間・緊急時に対応してくれること |
| 7 | その他（ ） |
| 8 | 特になし |

注1 FacebookやTwitterなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと。

問44 あなたや保護者の方は、今後あなたが希望する生活をするためには、何があればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----|---------------------------------|
| 1 | ホームヘルプサービスや通所サービスが充実すること |
| 2 | 外出に関する支援が充実すること |
| 3 | 家族が介助できない時などに利用する短期入所施設等が充実すること |
| 4 | 重度の障がい者や医療的ケアが必要な人のサービスが充実すること |
| 5 | 補装具や日常生活用具など福祉用具が充実すること |
| 6 | コミュニケーションに関する支援が充実すること |
| 7 | 年金や手当、経済的な負担軽減 |
| 8 | 医療やリハビリテーションの充実 |
| 9 | 住まいの場が充実すること |
| 10 | スポーツ、レクリエーション、文化活動の充実 |
| 11 | 仕事や作業の場が充実すること |
| 12 | まわりの人が自分の障がいを理解してくれること |
| 13 | 障がいに対する偏見をなくし理解が深まるための啓発 |
| 14 | 生活するのに必要なことを練習できる場所があること |
| 15 | 困ったときに相談事を聞いてくれて助言してくれること |
| 16 | 必要な情報を簡単に入手することができること |
| 17 | 高齢になっても安心して生活できること |
| 18 | その他（ ） |
| 19 | 特になし |

9 共生社会の在り方について

《みなさまにお聞きします。》

問45 札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支えあう共生社会の実現を目指しています。あなたが考える「共生社会」とはどのような社会ですか。共生社会のイメージについて自由にご記入ください。

問46 あなたが考える「共生社会」の実現のためには、どのような施策が必要ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 障がいのある人が利用する障がい福祉サービスの充実 |
| 2 | 障がいのある人の就労機会の充実 |
| 3 | 障がいのある人のスポーツ活動の充実 |
| 4 | 障がいのある人の文化・芸術活動の充実 |
| 5 | その他障がいのある人の社会参加の充実 |
| 6 | 建築物・交通機関等のバリアフリー化の推進 |
| 7 | 心のバリアフリー化（障がい等に対する理解の促進）の推進 |
| 8 | インクルーシブ教育（注1）の充実 |
| 9 | 地域住民同士の助け合いが充実した社会の推進 |
| 10 | 障がいのある人となない人が一緒に楽しめるイベント等の充実 |
| 11 | 障がい福祉等に関係する情報提供の充実 |
| 12 | その他（ ） |

注1 インクルーシブとは「包括的な、包み込む」という意味の英語で、障がいの有無等によって学ぶ場や環境を分けられなくなり、一人ひとりの能力や苦手さと向き合いながら共に学ぶ教育のこと。

問47 その他、ご意見やご要望があればご記入ください。

協力ありがとうございました。
 記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて
 令和元年11月11日（月曜日）までに投函してください。

保健福祉に関する市民意識アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、市民の皆様、障がいのある方とのかかわりや障がい福祉施策に対する考え方などをお聞きする調査を行うことといたしました。
突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、札幌市内に住み登録をしている満18歳以上の方からくじ引きのような方法で無作為に抽出して、郵送させていただきます。引きいただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

① 年齢等を記載する基準日については、令和元年9月1日現在の状況で記入してください。

② 記入していただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに無記名のまま、令和元年11月11日（月曜日）までに、投函してください。

ご不明な点やお問い合わせ

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
担当：清家、河原
Tel011-231-3053 / Fax011-231-3143

札幌市社会福祉協議会
(札幌市委託業務)

1 あなたのことに ついて

問1 あなたの性別に○をつけてください。

1	男	2	女
3	その他		

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	18歳～19歳	2	20歳～29歳
3	30歳～39歳	4	40歳～49歳
5	50歳～59歳	6	60歳～64歳
7	65歳～74歳	8	75歳以上

2 障がいのある人とのかかわりについて

問3 あなたの身近に障がいのある人はいますか、または、これまでいたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	いる (いた)	【→問4へ】
2	いない (いなかった) 【→問5へ】	

問4 《問3で「1 (いる (いた))」と回答した方にお聞きします。》

問4 あなたの身近にいる (いた) 障がいのある人は、どのようなところにいますか (いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	自分自身または家族などの身近な親族	2	学校
3	自分の職場	4	仕事関係 (自分の職場以外)
5	隣近所	6	趣味等の活動
7	その他 ()		

問5 あなたはこれまで、実際に障がいのある人と気軽に話したり、障がいのあつての手助けをしたりしたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	ある 【→問6-1へ】	2	ない 【→問7-1へ】
---	-------------	---	-------------

《問5で「1（ある）」と回答した方にお聞きします。》

問6-1 それは、どのような気持ちからでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 身内等に障がいのある人がいて、その大変さを知っているから |
| 2 | 近所付き合いや親戚付き合いなどで |
| 3 | 困っているときはお互い様という気持ちから |
| 4 | 自分の仕事に關連して |
| 5 | 将来、自分も事故や病気などで障がいをもつかもしれないから |
| 6 | 何となく |
| 7 | その他 () |

問6-2 それは、どのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----|--------------|----|----------------|
| 1 | 席をゆずった | 2 | 横断歩道や階段で手助けをした |
| 3 | 車いすを押した | 4 | 家事や買い物などの手伝い |
| 5 | 入浴や着替えなどの手伝い | 6 | 手話、点訳、音読、筆談など |
| 7 | 一緒に遊んだ | 8 | 相談相手、話し相手 |
| 9 | 寄附等の金銭的な援助 | 10 | 募金活動 |
| 11 | その他 () | | |

《→問8へ進んでください。》

《問5で「2（ない）」と回答した方にお聞きします。》

問7-1 それは、どうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 手助けの方法がよくわからなかったから |
| 2 | 手助けをしようとしたら断られたから |
| 3 | 関心がないから |
| 4 | そのような機会がなかったから |
| 5 | その他 () |

問7-2 あなたは、困っている障がいのある人と出会った時に、どうしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う |
| 2 | 声をかけられたら手伝う |
| 3 | 他の人が何か手伝えれば自分も手伝う |
| 4 | 手伝いたい気持ちはあるが勇気がだせない |
| 5 | 責任が持てないので関わりたくないようにする |
| 6 | 相手の態度による |
| 7 | 声をかけられなないように逃げてしまう |
| 8 | その時になってみないと分からない |

問7-3 あなたは今後、自分のできる範囲で、障がいのある人の手助けなどをしてみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | してみたい【→問7-4へ】 |
| 2 | したくない【→問8へ】 |
| 3 | わからない【→問8へ】 |

《問7-3で「1 してみたい」と回答した方にお聞きします。》

問7-4 それは、どのような手助けですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----|---------------|----|----------------|
| 1 | 席をゆずる | 2 | 横断歩道や階段での手助け |
| 3 | 車いすを押す | 4 | 災害時の声かけや避難の手伝い |
| 5 | 家事や買い物などの手伝い | 6 | 入浴や着替えなどの手伝い |
| 7 | 手話、点訳、音読、筆談など | 8 | 一緒に遊ぶ |
| 9 | 相談相手、話し相手 | 10 | 寄附等の金銭的な援助 |
| 11 | 募金活動 | 12 | その他 () |

3 障害者差別解消法について

平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されました。この法律では、国や地方公共団体、民間事業者等に差別的取扱いを禁止し、差別を解消するための措置などを規定しています。あなたは、この法律について知っていましたか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 法律の内容も合わせて知っていた【→問9へ】
- 2 詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった【→問9へ】
- 3 知らなかった【→問10へ】

《問8で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。》

あなたは、「障害者差別解消法」を何で知りましたか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 2 札幌市のホームページ
- 3 札幌市のパンフレット
- 4 札幌市の広報誌
- 5 家族や親せき、友人・知人
- 6 福祉サービス事業所の人や施設職員
- 7 障がい者団体や家族会（団体の機関紙など）
- 8 行政機関の相談窓口
- 9 インターネット
- 10 SNS（注1）
- 11 その他（ ）

注1 FacebookやTwitterなどのソーシャル・ネットワークワーキング・サービスのこと

あなたは過去3年間に、障がいを理由とした差別を見たことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある【→問11へ】
- 2 ない【→問12へ】
- 3 わからない【→問12へ】

《問10で「1」と回答した方にお聞きします》
 問11 それは、どのような内容でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 じろじろ見られた
- 2 いやなことを言われた
- 3 暴力をふるわれた
- 4 仲間はずれにされた
- 5 施設の利用や交通機関への乗車を拒否された
- 6 病院で円滑に診療を受けられなかった
- 7 その他（ ）

4 ボランティア活動について

あなたは、障がいのある人に関わるボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 現在、ボランティア活動をしている
- 2 ボランティア活動をしていたが、現在はしていない
- 3 今までにボランティア活動をしたことがない

あなたは、今後、障がいのある人と関わるボランティア活動をしたいと思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 したいと思う【→問14へ】
- 2 したいと思わない【→問15へ】
- 3 わからない【→問15へ】

《問13で「1（したいと思う）」と回答した方にお聞きます》

問14 それは、どのような活動ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	家事のお手伝い
2	買い物や諸手続きの代行
3	話し相手
4	スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流
5	外出する時の付き添い
6	募金活動
7	外出時の送迎（移送ボランティアなど）
8	家や庭の手入れ
9	除雪
10	本や情報誌などの点訳や朗読
11	手話通訳、要約筆記（注1）
12	介助者が緊急で不在のときの支援
13	家族が外出したときの託児・見守り
14	その他（ ）

注1 聴覚障がいのある方に、話されている内容を要約し、ノートやパソコンなどを使って、文字として伝えることです。

《みなさまにお聞きます》

問15 あなたは、障がいのある人と関わるボランティア活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	ボランティアの募集に関する情報提供や相談窓口の充実
2	学校等でボランティア学習・体験活動を行う
3	ボランティア休暇・休学制度等、活動しやすい条件の整備
4	ボランティア同士との交流の促進
5	保険加入や交通費等の支給
6	NPO、ボランティアグループ等の育成
7	手話、要約筆記等の専門的講習の開催及び情報提供
8	ボランティア活動者への感謝状等の社会的な評価
9	その他
10	わからない

5 札幌市の施策について

《みなさまにお聞きます。》

問16～20 あなたは、下表にある施策等について、知っているか、知らないか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

問	施策等の名称	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがある	知らなかった
問16	ヘルプマーク（注1）	1	2	3
問17	ヘルプカード（注2）	1	2	3
問18	札幌市障がい者コミュニケーション条例（注3）	1	2	3
問19	札幌市手話言語条例（注4）	1	2	3
問20	心のバリアフリー（注5）	1	2	3

注1 外見からは障がいがあることが分からない方などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークのこと。



※イメージ

注2 緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、緊急時などに周りの援助や配慮をお願いしやすくなるカードのこと。

注3 障がいの特性に合わせた手段によって情報を取得し、コミュニケーションをしやすい環境を整備し、障がいのある方も相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを目的に制定した条例。

注4 手話が言語であることについて、市民の理解促進を図り、手話が言語であるとの認識を普及することを目的に制定した条例。

注5 障がいのある人等に対し、必要以上に「かわいそう」、「かばってあげなければならぬ」と思ったりする、意識の中にある差別や偏見等の「心のバリア（障壁）」をなくし、思いやりをもって手助けしようとする考えや行動のこと。

問21 あなたは、「心のバリアフリー」を推進し、障がいのある人に対する理解を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

- | | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 学校での子どもへの教育を充実する |
| 2 | 地域での住民を対象とした学習会を充実する |
| 3 | イベント等を通した障がいのある人と市民との交流の機会を充実する |
| 4 | テレビ・新聞などのマスメディアと連携した広報活動を充実する |
| 5 | 障がいのある方に対するボランティア活動の支援を充実する |
| 6 | 市の広報誌等で、理解を深めるための啓発を推進する |
| 7 | 障がい者団体の活動をPRする |
| 8 | 障がいのある人による芸術活動を推進する |
| 9 | 障がいのある人から話を聞く |
| 10 | 駅や区民センター、図書館等での周知活動（パネル点字など） |
| 11 | その他（ ） |

問22 あなたは、地震等の災害があったとき、近所に住む障がいのある人の手助けをしたいと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 可能な範囲で手助けをしたい【→問23へ】 |
| 2 | 手助けをしたいと思わない【→問24へ】 |
| 3 | わからない【→問24へ】 |

問23 《問22で「1（可能な範囲で手助けをしたい）」と回答した方にお聞きします》

あなたは、災害があったときに手助けできるよう、近所に住む障がいのある人のことを知っておきたいと思えますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 知っておきたい |
| 2 | 知っておきたいとは思わない |
| 3 | わからない |

問24 あなたは、札幌市が、障がいのある人にとって地域で普通に暮らしやすい都市であると思いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | そう思う【→問26へ】 |
| 2 | まあそう思う【→問26へ】 |
| 3 | あまりそう思わない【→問25へ】 |
| 4 | そう思わない【→問25へ】 |
| 5 | どちらともいえない【→問26へ】 |
| 6 | わからない【→問26へ】 |

問25 《問24で「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答した方にお聞きします。》
 そう思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 居宅介護（ホームヘルプサービス）等の在宅サービスが十分に提供されていない |
| 2 | 障がいのある人が生活するに足る収入が確保されていない |
| 3 | 障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などが不十分である |
| 4 | 障がいのある人の就労が困難である |
| 5 | 障がいのある人からの相談を受ける体制が整っていない |
| 6 | 障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない |
| 7 | 障がいのある人への差別や偏見が大きい |
| 8 | その他（ ） |
| 9 | わからない |

《みなさまにお聞きします。》

問26 あなたは、3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | かなり進んだと思う | 2 | 少し進んだと思う |
| 3 | あまり進んだと思わない | 4 | ほとんど進んだと思わない |
| 5 | どちらともいえない | 6 | わからない |

問27 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があると思われるものは何ですか。あてはまるものをすべに○をつけてください。

- 1 居宅介護（ホームヘルプサービス）等の在宅サービスの充実
- 2 生活の安定のための手当などの充実
- 3 障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備
- 4 障がいのある子どもの教育の充実
- 5 障がいに応じた職業訓練の充実や雇用の促進
- 6 医療サービスやリハビリテーションの充実
- 7 障がいのある人やその家族への相談支援体制の充実
- 8 地域全体で障がいのある人を支えていく体制の整備
- 9 点字・手話、字幕放送、ルビ（ふりがな）などの情報提供の充実
- 10 障がいに対する理解の促進
- 11 その他（ ）
- 12 わからない

6 共生社会の在り方について

《みなさまにお聞きます。》
 問28 札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支えあう共生社会の実現を目指しています。あなたが考える「共生社会」とはどのような社会ですか。共生社会のイメージについて自由にご記入ください。

問29 あなたが考える「共生社会」の実現のためには、どのような施策が必要ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 障がいのある人が利用する障がい福祉サービスの充実
- 2 障がいのある人の就労機会の充実
- 3 障がいのある人のスポーツ活動の充実
- 4 障がいのある人の文化・芸術活動の充実
- 5 その他障がいのある人の社会参加の充実
- 6 建築物・交通機関等のバリアフリー化の促進
- 7 心のバリアフリー化（障がい等に対する理解の促進）の推進
- 8 インクルーシブ教育（注1）の充実
- 9 地域住民同士の助け合いが充実した社会の推進
- 10 障がいのある人となない人が一緒に楽しめるイベント等の充実
- 11 障がい福祉等に関係する情報提供の充実
- 12 その他（ ）

注1 インクルーシブとは「包括的な、包み込む」という意味の英語で、障がいの有無等によって学ぶ場や環境を分けられることなく、一人ひとりの能力や苦手さと向き合いながら共に学ぶ教育のこと。

問30 その他ご意見やご要望があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
 記入もれがないか確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて
 令和元年11月11日（月曜日）までに投函してください。

保健福祉に関する企業意識アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、企業の皆様の、障がいのある方とのかわりや障がい福祉施策に対する考え方などをお聞きする調査を行うことといたしました。

突然のお願いいで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、札幌市内の企業の中から無作為に抽出して、郵送させていただきます。

ご回答にあたって

- ① 本アンケートは、令和元年9月1日現在の状況で記入してください。
- ② 回答は、あてはまる選択肢の番号に○をおつけください。別に回答欄があるものについては、番号または字句を回答欄にご記入ください。
- ③ ご回答いただきましたアンケート票につきましては、統計的に処理し、個票のまま公表することは一切ございません。また、本調査の用途以外の使用はいたしません。
- ④ 記入していただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、令和元年11月11日（月）までに、投函してください。

ご不明な点やお問い合わせは以下までお願いいたします。

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
担当：清家、河原

TEL011-231-3053 / Fax011-231-3143

(札幌市委託業務)

1 貴社について

企業名	
住 所	所属部署
アンケート ご回答者	お名前
ご連絡先	メールアドレス:
業 種	1. 農林水産業 2. 製造業 3. 建設業 4. 電気・ガス・熱・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業 7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産・物品賃貸業 10. 学術研究、専門技術サービス業、 11. 宿泊・飲食業 12. サービス・娯楽業 13. 教育・学習支援業 14. 医療・福祉業 15. サービス業 16. その他 ()
主な 事業内容	
資本金	1. 1,000万円未満 2. 1,000～3,000万円未満 3. 3,000～5,000万円未満 4. 5,000万円～1億円未満 5. 1億円以上
従業員数	名 (パート除く)

2 障がいのある方の雇用について

問1. 貴社では障がいのある方を雇用了ことはありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 現在雇用している【→問2へ】
2. 過去に雇用したことがある【→問2へ】
3. 雇用したことはない【→問6へ】

《問1で「1」または「2」と回答した方にお聞きします》

問2. 貴社が雇用している（していた）方の障がいの種別について、あてはまるものをすべてに○をつけてください。

1. 身体障がい
2. 知的障がい
3. 精神障がい
4. その他

問3. 貴社が雇用している（していた）方の障がいのある方のおもな職務内容について、自由にご記入ください。

問4. 貴社が、障がいのある方を雇用了経路についてあてはまるものをすべてに○をつけてください。

1. 学校や施設からの紹介
2. ハローワークからの紹介
3. 知人からの紹介
4. 一般求人からの雇用
5. 入社後の従業員が障がいを負ったため
6. その他 ()

問5. 貴社が、障がいのある方を雇用して良かったこと、困ったことについて自由にご記入ください。

(良かったこと)	(困ったこと)
----------	---------

《みなさまにお聞きます》

問6. 貴社では今後、障がいのある方を雇用したいと思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 積極的に雇用したい【→問7へ】	2. 検討していきたい【→問7へ】
3. 雇用は考えていない【→問8へ】	

《問6で「1」または「2」と回答した方にお聞きます》

問7. その理由として最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 雇用義務があるから	2. 人手が不足しているから
3. 雇用による社内への好影響が期待できるから	4. 地域、社会への貢献のため
5. その他 ()	

《問6で「3」と回答した方にお聞きます》

問8. その理由として最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 業種的に難しい	2. 障がいの有無に関わらず追加雇用が難しい
3. 適した業務がない	4. 生産性が低くなるため
5. 受け入れ体制、設備がないため	6. 教育・指導が難しいため
7. その他 ()	

《みなさまにお聞きます》

問9. 障がいのある方の雇用に関して、各種相談窓口や支援制度が用意されています。ご存知のものすべてに○をつけてください。

1. ハローワークみどりの窓口	2. 北海道障害者職業センター
3. 障がいの者就業・生活支援センターすく	4. 就業・生活応援プラザとねっと
5. 就業・生活相談室からびな	6. 就業・生活相談室テラス
7. 就業・生活相談室さんさっぽろ	8. 元気スキルアップ事業
9. トライアル雇用助成金制度	10. 障がいの者雇用事業主への助成金制度

問10. 障がいのある方の雇用を促進していくためには、企業に対してどのような働きかけが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 行政機関からの雇用にかかる各種支援策の積極的啓蒙	2. 学校や施設、ハローワークからの積極的なアプローチ
3. 社外団体・警察・教育の仕組みなどのコーディネート	4. 障がいのある方への教育・訓練制度の充実
5. 企業への理解促進・意識啓蒙を目的とした研修事業等	6. 就業体験（インターンシップ）の促進
7. その他 ()	

問11. 貴社では、在宅就労（テレワーク）を導入していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 導入している (在宅就労者 名、うち障がいの者 名)	2. 導入について検討している
3. 導入する予定はない	

問12. 障がいの者雇用に関する札幌市の施策について、ご意見、ご要望があればご記入ください。

--

3 障がいのある方と企業の関わりについて

問13. 貴社では、CSR（企業の社会的責任）やCSV（共有価値の創造）の観点から、障がいのある方、支援団体に対する社会貢献活動、地域活動を実施されたことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在実施している【→問14へ】	2. 過去に実施したことがある【→問14へ】
3. 実施したことはない【→問16へ】	

《問13で「1」または「2」と回答した方にお聞きます》

問14. その活動の内容について具体的に記入ください。

--

問15. その活動のきっかけについてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 学校や施設からの依頼	2. 町内会からの依頼
3. 経済団体からの依頼	4. 行政からの依頼
5. 自社による企画	6. その他 ()

《みなさまにお聞きます》

問16. 貴社では今後、障がいのある方、支援団体に対する社会貢献活動、地域活動に取り組みたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 積極的に取り組みたい【→問17へ】	2. 検討していきたい【→問17へ】
3. 取組は考えていない【→問19へ】	

《問16で「1」または「2」と回答した方にお聞きます》

問17. こうした活動に取り組む場合、どのような形で進めるのが望ましいですか。もつともあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 障がいの当事者、関係団体等から企画提案をしてもらい、適切であれば連携して取り組みを進めたい【→問18へ】
2. 貴社が企画し、必要に応じて障がいの当事者、関係団体等に協力してもらいたい【→問18へ】
3. 最初から障がいの当事者、関係団体等と協働・連携し、ニーズに対応した取組をともに企画・実施したい【→問19へ】
4. その他 () 【→問19へ】

《問17で「1」または「2」と回答した方にお聞きします》
 問18. 障がい当事者、関係団体等)にどのような企画提案をして欲しいですか。あるいはどのようなことを協力してもらいたいですか。具体的に記入ください。

--

《みなさまにお聞きします》

問19. 貴社では障がい者雇用や障がい者と企業との関わり等)についてどのようなようにお考えですか。

項目		選択肢		
①企業は法定雇用率を守ったうえで、事業活動を行っていきべきだ	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
②障がい者雇用を促進するため、障がい者に合わせた業務を企業で切り出したたり、柔軟な勤務形態にしたりすることが大切だ	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
③障がい者と一緒に仕事をすることは従業員にとってもよい教育になる	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
④障がい者のことをそもそもよくわからないから、雇用に一歩踏み出せないことがある	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
⑤障がい者を直接雇用しない企業でも、障がい者施設・団体への業務発注を推進すべきだ	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない

問20. 企業による障がいのある方・支援団体に対する社会貢献活動や地域活動の推進について、札幌市に期待する点があれば記入ください。

--

4 共生社会の在り方について

問21. 札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指しています。貴社が考える「共生社会」とはどのような社会ですか。共生社会のイメージについて自由に記入ください。

--

問22. 貴社が考える「共生社会」の実現のためには、どのような施策が必要ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

1. 障がいのある人が利用する障がい福祉サービスの充実
2. 障がいのある人の就労機会の充実
3. 障がいのある人のスポーツ活動の充実
4. 障がいのある人の文化・芸術活動の充実
5. その他障がいのある人の社会参加の充実
6. 建築物・交通機関等のバリアフリー化の推進
7. 心のバリアフリー化（障がい等に対する理解の促進）の推進
8. インクルージョン教育の充実
9. 地域住民同士の助け合いが充実した社会の推進
10. 障がいのある人とない方が一緒に楽しめるイベント等の充実
11. 障がい福祉等に関係する情報提供の充実
12. その他（ ）

注 インクルージョンとは「包摂的な、包み込む」という意味の英語で、障がいの有無等によって学ぶ場や環境を分けられることなく、一人ひとりの能力や苦手さと向き合いながら共に学ぶ教育のこと。

ご協力ありがとうございました。
 記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて
 令和元年11月11日（月曜日）までに投函してください。

札幌市

保健福祉に関するサービス事業所アンケート調査

目ごころから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、事業所の運営状況、サービス提供体制などをお聞きする調査を行うことといたしました。

突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、札幌市が指定している障害福祉サービス等提供事業所の中らくじ引きのような方法で無作為に抽出して、お送りさせていただきます。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- 1 調査票は事業所を管理されている方がご入力ください。
2 職員の人数等は、令和元年9月1日時点について、お答えください。
3 記入していただいたアンケートは、同封している返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、令和元年11月11日（月曜日）までに、投函してください。

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
担当：清家、河原
TEL 011-231-3053 / Fax 011-231-3143

札幌市委託業務

法人名をご記入ください。

法人名
事業所名
調査票のご記入・取りまどめを担当された方をご記入ください。
氏名
所属・役職
連絡先TEL

貴事業所について

（すべての事業所にお聞きします。）

問1 貴事業所が提供している障がい福祉サービス等をすべて選択してください。

Table with 2 columns: No. and Service Name. Services include: 1 居宅介護, 2 重度訪問介護, 3 行動援護, 4 重度障害者等包括支援, 5 同行援護, 6 療養介護, 7 生活介護, 8 短期入所, 9 施設入所支援, 10 共同生活援助, 11 宿泊型自立訓練, 12 自立訓練（機能訓練）, 13 自立訓練（生活訓練）, 14 就労移行支援, 15 就労継続支援A型, 16 就労継続支援B型, 17 就労定着支援, 18 自立生活援助, 19 計画相談支援, 20 地域移行支援, 21 地域定着支援, 22 児童発達支援, 23 放課後等デイサービス, 24 医療型児童発達支援, 25 保育所等訪問支援, 26 居宅訪問型児童発達支援, 27 障害児入所支援, 28 医療型障害児入所支援, 29 障害児相談支援, 30 移動支援事業, 31 地域活動支援センター, 32 日中一時支援事業

問2 貴事業所の平成30年度事業収支状況はいかがでしたか。

あてはまるものを1つ選択してください。

1 黒字だった
2 収支がほぼ均衡した
3 赤字だった

問4 生活介護、短期入所、共同生活援助、障害児通所支援(児童発達支援及び放課後等デイサービス)を実施している事業所のみお答えください。
(令和元年9月1日現在)

※「重度障がい」は重症心身障がい児者および強度行動障がい者を指す

① 定員数	生活介護	短期入所	共同生活援助 (グループホーム)	障害児通所支援
② 追加で受入可能な人数 (うち重度障がい者数)				

職員について

(すべての事業所にお聞きます)
 貴事業所でサービスに携わる職員数は何人ですか。
 勤続年数ごとにご記入ください。

勤続年数	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
常勤職員	人	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人	人

問6 貴事業所の職員について、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの1年間の採用者数と離職者数は何人でしたか。
 ※平成30年2月以降に事業を開始した場合は、事業開始日から平成30年12月31日までの採用者数と離職者数をご記入ください。

採用者数	採用者数	離職者数
	人	人
常勤職員	人	人
	人	人
非常勤職員	人	人
	人	人
離職した職員の勤務年数		3年未満
1年未満		人
1年～3年未満		人
3年～5年未満		人
5年～10年未満		人
10年以上		人

※1年未満の有期雇用契約による、採用または退職した者を除く。

問3 貴事業所で提供しているサービスを利用されている方は令和元年9月1日付で何人ですか。サービス種別、障がい種別ごとにお答えください。
 ※「重度障がい」は重症心身障がい児者および強度行動障がい者を指す

サービス種別	身体障がい	知的障がい	精神障がい	難病等	うち重度障がい
1 居宅介護	人	人	人	人	人
2 重度訪問介護	人	人	人	人	人
3 行動援護	人	人	人	人	人
4 重度障害者等包括支援	人	人	人	人	人
5 同行援護	人	人	人	人	人
6 療養介護	人	人	人	人	人
7 生活介護	人	人	人	人	人
8 短期入所	人	人	人	人	人
9 施設入所支援	人	人	人	人	人
10 共同生活援助	人	人	人	人	人
11 宿泊型自立訓練	人	人	人	人	人
12 自立訓練(機能訓練)	人	人	人	人	人
13 自立訓練(生活訓練)	人	人	人	人	人
14 就労移行支援	人	人	人	人	人
15 就労継続支援A型	人	人	人	人	人
16 就労継続支援B型	人	人	人	人	人
17 就労定着支援	人	人	人	人	人
18 自立生活援助	人	人	人	人	人
19 計画相談支援	人	人	人	人	人
20 地域移行支援	人	人	人	人	人
21 地域定着支援	人	人	人	人	人
22 児童発達支援	人	人	人	人	人
23 放課後等デイサービス	人	人	人	人	人
24 医療型児童発達支援	人	人	人	人	人
25 保育所等訪問支援	人	人	人	人	人
26 居宅訪問型児童発達支援	人	人	人	人	人
27 障害児入所支援	人	人	人	人	人
28 医療型障害児入所支援	人	人	人	人	人
29 障害児相談支援	人	人	人	人	人
30 移動支援事業	人	人	人	人	人
31 地域活動支援センター	人	人	人	人	人
32 日中一時支援事業	人	人	人	人	人

問7 貴事業所では、業務を円滑に実施するにあたって、職員(人手)が充足して
いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 十分である【→問10へ】
- 2 やや不足している【→問8へ】
- 3 不足している【→問8へ】
- 4 非常に不足している【→問8へ】

(問7で「2、3、4」を回答した事業所にお聞きします。)

問8 職員が不足していると感じる理由は何のようなものですか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 離職率が高い(定着率が低い)ため【→問10へ】
- 2 採用が困難なため【→問9へ】
- 3 その他()【→問10へ】

(問8で「2」を回答した事業所にお聞きします。)

問9 採用が困難な原因はどこにあると思いますか。

あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 労働時間が長い
- 2 夜勤が多い
- 3 休みが取りにくい
- 4 雇用が不安定
- 5 キャリアアップの機会が不十分
- 6 賃金が低い
- 7 (仕事内容の面で)身体的負担が大きい
- 8 (仕事内容の面で)精神的負担が大きい
- 9 社会的評価が低い
- 10 その他()
- 11 わからない

(すべての事業所にお聞きします。)

問10 貴事業所では、職員が離職する原因はどこにあると思いますか。

あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 職場の人間関係に問題があった
- 2 他の職場、仕事に魅力があった
- 3 彼の仕事と比べて賃金が低かった
- 4 キャリアアップの機会を与えられなかった
- 5 結婚・出産・妊娠・育児等のライフイベントに専念したかった
- 6 人員整理・退職勧奨・法人解散・事業不振等
- 7 家族の介護・看護
- 8 病气・高齢
- 9 定年・雇用期間満了
- 10 利用者、その家族等との人間関係に問題があったため
- 11 その他()
- 12 わからない

問11 貴事業所では、人材育成のためにどのような取組をしていますか。

あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 事業所内で研修の実施・充実
- 2 外部研修等参加のための休暇取得の支援
- 3 外部研修等参加のための金銭的な支援
- 4 勤務条件(夜勤回数・勤務時間帯など)の改善
- 5 給与面での改善(ベースアップ、各種手当など)
- 6 福利厚生面での改善(有給休暇の取得向上、有休制度の充実)
- 7 昇給・昇格・勤務評価等を明確にした人事制度の導入
- 8 職員間の交流や意思疎通などの改善(風通しのよい職場づくり)
- 9 職場環境の改善等への職員意見の取り入れ
- 10 職員のメンタルケアの充実
- 11 資格取得にかかる費用を補助している
- 12 資格取得に際して昇給する仕組みを導入している
- 13 その他()
- 14 特にしていない

問12 貴事業所では、人材確保のためにどのような手法をとっていますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 求人誌等に人材広告を掲載した
- 2 インターネットの求人サイトを利用した
- 3 人材募集のチラシを配布した
- 4 ハローワークを通じて募集した
- 5 福祉専門学校等で求人を行った
- 6 職員からの紹介
- 7 ボランティアを受け入れた
- 8 法人・事業所等のホームページで募集した
- 9 人材派遣の利用
- 10 外国人労働者の受入
- 11 その他 ()
- 12 特にしていない

サービス提供について

(すべての事業所にお聞きします。)

問13 貴事業所では、サービスを提供するうえで、どのような課題がありますか。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 量的に、利用者の希望どおり提供できていない
- 2 質的に、利用者の希望どおり提供できていない
- 3 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
- 4 困難事例への対応が難しい
- 5 休日や夜間の対応が難しい
- 6 変更やキャンセルが多い
- 7 苦情やトラブルが多い
- 8 特でない
- 9 その他 ()

問14 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族からのどのような相談や苦情を受け付けていますか。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 利用できる回数や日数が少ない
- 2 希望どおりの日に利用できない
- 3 サービスの質に不満がある
- 4 職員の対応に不満がある
- 5 利用したいサービスが利用できない
- 6 利用者負担が大きい(利用料が高い)
- 7 区役所等での手続きがわかりにくい
- 8 その他 ()
- 9 特でない

問15 貴事業所では、医療的ケアを受けている(=人工呼吸器等の医療器具を常時使用している、在宅で吸引、導尿等の医療的処置を受けている)利用者について、どのように対応していますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 利用を断ることが多い【→問16へ】
- 2 ときどき利用を断ることがある【→問16へ】
- 3 利用を断ることはほとんどない【→問17へ】
- 4 利用の希望がない【→問17へ】

(問15で「1、2」を回答した事業所にお聞きします。)

問16 貴事業所で、医療的ケアを受けている利用者からの利用を断る理由は、どのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 職員(人手)が足りない
- 2 医療的ケアを行える職員がいない
- 3 対応するための知識・経験が足りない
- 4 対応するための設備(医療機器等)がない
- 5 受け入れたことがほとんどない
- 6 その他 ()

問17 貴事業所では、今後、重度障がい者の受入人数を拡大するため、どのようなことが必要だとお思いますか。あてはまるものすべてを選択してください。
 ※ここで「重度障がい者」は、重症心身障がい児者または強度行動障がい者を指す。

- | | | |
|---|------------------------------------|--|
| 1 | 施設の整備に係る支援 | |
| 2 | 職員（人手）の確保に係る支援 | |
| 3 | 重度障がい者の対応を行うことができる専門的人材の確保にかかるとる支援 | |
| 4 | 重度障がい者に対するための設備整備にかかるとる支援 | |
| 5 | 特に支援は必要ない | |
| 6 | その他（ ） | |

問18 サービスの利用者は、これまでどのようなことをされてきた方ですか。
 それぞれ人数をご記入ください。

特別支援学校等の卒業生	にん
一般就労の離職者	にん
就労継続支援からの移行者	にん
自立訓練からの移行者	にん
その他のサービス（生活介護等）からの移行者	にん
在宅で過ごしていた方	にん
その他	にん

問19 就労移行支援事業所にお聞きします。
 昨年1年間の返所者の進路について、人数をご記入ください。

一般就労	にん
就労継続支援に移行	にん
その他のサービス（生活介護等）に移行	にん
その他	にん

問20 貴事業所が、北海道胆振東部地震の際に困ったことはありませんか。
 あてはまるものすべてを選択してください。

- | | | |
|---|----------------------------|--|
| 1 | 停電等のため必要な支援を提供できなかった | |
| 2 | 停電等のため事業所にある利用者情報を把握できなかった | |
| 3 | 停電等のため利用者の状況確認ができなかった | |
| 4 | 備蓄している食糧や水が足りなかった | |
| 5 | 交通手段がなく職員が出勤できなかった | |
| 6 | 被災情報や復旧情報を得ることができなかった | |
| 7 | 災害後、心身の状況が悪化した利用者がいた | |
| 8 | その他（ ） | |
| 9 | 困ったことはない | |

問21 貴事業所が現在、災害に備えていることはありますか。
 あてはまるものすべてを選択してください。

- | | | |
|----|--------------------------------|--|
| 1 | 停電に備えて電源を確保している（発電機、充電器、懐中電灯等） | |
| 2 | 水や食料、毛布などの備蓄 | |
| 3 | 非常時の体制（参集方法、連絡方法等）の検討・共有 | |
| 4 | 停電でも確認できる利用者情報の整備 | |
| 5 | 利用者の安否確認方法の検討・共有 | |
| 6 | 地域の事業者とのネットワークづくり | |
| 7 | 近隣住民とのネットワークづくり | |
| 8 | 利用者や家族に災害への備えを教える | |
| 9 | その他（ ） | |
| 10 | 備えていることはない | |

問22 災害対応に関して、札幌市に望むことはありますか。
 あてはまるものすべてを選択してください。

- | | | |
|---|--------------------------|--|
| 1 | 避難場所で福祉避難スペースを設けてほしい | |
| 2 | 避難場所の備蓄をもっと充実させてほしい | |
| 3 | 医療機器等の電源確保の対策をしてほしい | |
| 4 | 避難行動要支援者名簿の地域への提供を進めてほしい | |
| 5 | 障がい者を対象とした防災訓練を充実してほしい | |
| 6 | 障がい者のための防災マニュアルを作成してほしい | |
| 7 | その他（ ） | |
| 8 | 特に望むことはない | |

障がい者による文化芸術活動について

問23 日中活動系・居住系サービスの提供事業者にお聞きします(日中活動系・居住系サービスの提供事業者にお聞きします)貴事業所は、過去1年間で文化芸術を直接鑑賞する機会がありましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべて選択してください。

- 1 音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)
- 2 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)
- 3 演劇(現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)
- 4 舞踊(日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンサーダンスなど)
- 5 映画(アニメを除く)
- 6 アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアートなど)
- 7 伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など)
- 8 芸能(講談、落語、浪曲、漫才など)
- 9 歴史的な建物や遺跡(建造物、遺跡、名勝地(庭園など)の文化財)
- 10 その他()
- 11 鑑賞したものはない
- 12 わからない

問24 日中活動系・居住系サービスの提供事業者にお聞きします(日中活動系・居住系サービスの提供事業者にお聞きします)貴事業所は、過去1年間で文化芸術活動を直接鑑賞する機会を増やしたいですか。あてはまるものすべて選択してください。

- 1 そう思う
- 2 そう思わない
- 3 わからない

問25 日中活動系・居住系サービスの提供事業者にお聞きします(日中活動系・居住系サービスの提供事業者にお聞きします)貴事業所の活動として、利用者が文化芸術に関わる機会がありましたか。またそれはどのようなものですか。あてはまるものすべて選択してください。
※過去1年間について、お答えください。

- 1 音楽の演奏や合唱
- 2 美術作品の創作(絵画、陶芸、書道など)
- 3 演劇(現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)
- 4 舞踊(ダンス、バレエなど)
- 5 文学作品の創作(詩、小説など)
- 6 茶道・華道
- 7 地域の芸能や祭りへの参加
- 8 その他()
- 9 活動していない

問26 今後、貴事業所の活動として、利用者が文化芸術活動を行う機会を増やしたいですか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 そう思う
- 2 そう思わない
- 3 わからない

問27 貴事業所の活動に文化芸術活動を取り入れるには、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものすべて選択してください。

- 1 文化芸術施設のバリアフリー情報を周知する
- 2 文化芸術施設のバリアフリー化を進める
- 3 作品等を発表する機会を増やす
- 4 芸術価値が高い作品等を適正に評価する
- 5 著作権等権利保護の推進
- 6 作品等の創作・発表を支援する
- 7 芸術上価値が高い作品等の販売を支援する
- 8 文化芸術活動を通じた交流の機会を増やす
- 9 文化芸術に関する相談体制を整える
- 10 障がいのある人の文化芸術に関わる人材の育成
- 11 その他()
- 12 わからない

問28 その他ご意見やご要望があればご記入ください。

A 年齢区分＜直接入力＞

令和元年9月1日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分＜コード入力＞

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女
3	その他

C 入所期間区分＜コード入力＞

入所期間を次の区分により記入してください。

区分	入所期間
1	1年未満
2	1年～3年未満
3	3年～5年未満
4	5年～10年未満
5	10年～20年未満
6	20年～30年未満
7	30年以上

D 障がい等級区分＜コード入力＞

障がい等級（総合等級）等を次の区分により記入してください。

（複数回答可。主たる障がいから順に記入してください。）

区分	等級	区分	等級
1	身体障害者手帳1級	9	療育手帳B（軽度）
2	身体障害者手帳2級	10	精神障害者保健福祉手帳1級
3	身体障害者手帳3級	11	精神障害者保健福祉手帳2級
4	身体障害者手帳4級	12	精神障害者保健福祉手帳3級
5	身体障害者手帳5級	13	自立支援医療（精神通院医療受給者証）
6	身体障害者手帳6級	14	特定疾病療養受療証
7	療育手帳A（最重度・重度）	15	重症心身障がい
8	療育手帳B（中度）		

保健福祉に関する施設入所者アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたびは、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、施設入所者の状況などをお聞きする調査を行うことといたしました。

突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、札幌市で指定を受けている全ての施設入所支援事業所に、送信させていただいたものです。

回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- 1 回答は別添の「回答票（エクセルファイル）」に入力願います。
- 2 A～Oは、令和元年9月1日時点において、札幌市が援護の実施機関となっている入所者（札幌市の障害福祉サービス受給者証を持っている方）について、お答えください。
- 3 入所者ごと連番を付してください（氏名の記入は必要ありません）。
- 4 <直接入力>項目は、該当項目に直接回答を入力してください。
- 5 <コード入力>項目は、該当項目の「コード欄」にコード表「区分」のコードを入力すると、それぞれの区分が自動入力されます。※書式及び数式等は変更しないください。

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所

担当：清家、河原

TEL011-231-3053 / Fax011-231-3143

(札幌市委託業務)

H～Jは、入所者ご自身の意向や希望をお聞きするものです。可能な限りご本人にご確認のうえ回答してください。

H 施設を退所して、施設以外の場所で生活したいと思うか＜コード入力＞
地域生活への意向・希望について次の区分により記入してください。

区分	地域生活移行
1	退所が決まっている【→I・Jへ】
2	退所して施設以外の場所で暮らしたいと思っている（言葉や態度ではっきり示している）【→I・Jへ】
3	施設以外での生活に関心がある・興味を示している【→I・Jへ】
4	退所をしたいと思っていない（言葉や態度ではっきり示している）
5	時によって意向が異なる
6	不明

＜＜Hの回答が「1」～「3」の場合のみ記入してください。＞＞

I 希望する居住形態区分＜コード入力＞

希望する居住形態について次の区分により記入してください。

区分	居住形態
1	持ち家
2	民間の賃貸住宅
3	公営住宅、公団住宅
4	福祉ホーム、グループホーム等
5	その他
6	不明

＜＜Hの回答が「1」～「3」の場合のみ記入してください。＞＞

J 希望する日中活動区分＜コード入力＞

希望する日中活動について次の区分により記入してください。

区分	日中活動
1	通所施設で訓練や作業をしたい
2	一般就労したい
3	その他
4	不明

＜＜Dの回答が「1～6」「15」にあてはまる場合のみ記入してください。＞＞

E 障がい部位区分＜コード入力＞

障がい部位を次の区分により記入してください。

（複数回答可。主たる障がい部位から順に記入してください。）

区分	部位	区分	部位
1	視覚	9	脳病変による運動機能（移動）
2	聴覚	10	心臓機能
3	平衡機能	11	じん臓機能
4	音声・言語・そしゃく機能	12	呼吸器機能
5	上肢	13	ぼうこう・直腸機能
6	下肢	14	小腸機能
7	体幹	15	免疫機能
8	脳病変による運動機能（上肢）	16	肝臓機能

F 障害者総合支援法による障害支援区分＜コード入力＞

障害者総合支援法による障害支援区分の認定状況を記入してください。

区分	等級	区分	等級
1	区分1	5	区分5
2	区分2	6	区分6
3	区分3	7	非該当
4	区分4	8	未認定・認定申請中

G 行動区分＜コード入力＞

よく見られる行動のうち、3つまで選んで、次の区分により記入してください。

区分	行動
1	特定の物や人に対する強いこだわり
2	多動または行動の停止
3	パニックや不安定な行動
4	自分の身体を叩いたり傷つけたりする
5	叩いたり蹴ったり器物を壊したりする
6	人に突然抱きつく、断りもなく物を持つてくる
7	ときどき奇声を発することがある
8	突然走っていなくなるような突発的行動
9	過食・反すうなどの食事に関する行動
10	上記のような行動は特にみられない

K～Nは、入所者の意向とは別に客観的に回答してください。

K 退所の可能性区分<コード入力>

退所の可能性について次の区分により記入してください。

区分	退所の可能性
1	退所が決まっている ⇒ L・M・Nへ
2	居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能 ⇒ L・M・Nへ
3	現時点では引き続き施設での訓練が必要であるが、長期的（令和5年度末まで）には可能性がある
4	現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

L 退所後の訪問系サービス区分<コード入力>

退所後に必要となると思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

区分	訪問系サービス
1	居宅介護・重度訪問介護
2	同行援護・行動援護・移動支援
3	短期入所・日中一時支援
4	その他

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

M 退所後の日中活動区分<コード入力>

退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

区分	日中活動
1	生活介護
2	自立訓練
3	就労移行支援
4	就労継続支援（A型）
5	就労継続支援（B型）
6	地域活動支援センター・地域共同作業所
7	一般就労
8	その他

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

N 退所後のその他のサービス区分<コード入力>

退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

区分	その他のサービス
1	相談支援事業（日常の生活相談など）
2	入居等支援事業（入居時・入居後の支援）
3	理学療法・作業療法
4	職業訓練やジョブコーチ・ジョブサポーター
5	補装具・日常生活用具
6	自立生活援助
7	成年後見人
8	その他

<<全ての入所者について記入してください。>>

O 退所に向けての問題点（不安な点）区分<コード入力>

退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分で記入してください。（複数回答可）

(1) 本人の状態像

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	退所に向けた意識が乏しい
2	環境変化への不安が強い
3	（援助者等との）対人関係の形成が困難（コミュニケーションがうまく取れないなど）
4	介護や見守り等の支援が常時必要である
5	医療的な面で注意が必要である
6	家事（調理、洗濯等）や金銭管理ができない
7	地域生活の経験が乏しく、IADLを高める訓練が必要である
8	退所したいかどうか、本人の意思が確認できない
9	1～8以外の問題点がある
10	特に問題はない

(2) 家族の状況

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	家族がいない（家族によるサポートがまったく期待できない）
2	家族が退所に反対している
3	本人の退所に対する家族の考え方は不明である
4	1～3 以外の問題点がある
5	退所に向けて、家族の積極的なかわり（支援）が期待できる

(3) 地域の状況（地域生活を支える周辺環境）

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	住まいの確保が困難（本人の障がいと合ったバリアフリー住宅が見つからない、グループホーム等に空きがない、保証人が見つからないなど）
2	訪問系サービス（居宅介護など）を十分に受けることができないう不安がある
3	外出時の支援を十分に受けることができないう不安がある
4	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないう不安がある
5	就職先や日中活動の場を見つけることが難しい
6	退所後のサービスの調整や日常的な相談を行ってくれる事業所等が見つからない
7	退所時のサポートをしてくれる支援者を確保することが難しい
8	一度退所すると再入所できないのではないかと不安がある
9	生活費が十分でない
10	金銭管理や契約等の面で不安がある（財産や権利が守れるかどうか不安がある）
11	服薬管理等を含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある
12	後見人がいないため、不安がある
13	1～12 以外の問題点がある
14	特に問題はない

以下の区分は、施設の取組などに関する設問です。

P 市外入所者の退所後の生活希望区分＜直接入力＞

市外からの入所者（援護の実施機関が札幌市以外の人）のうち、退所後も札幌市で生活することを希望している人は、何人いますか。（市外からの入所者数と併せてお答えください。）

Q 退所に向けての支援区分＜コード入力＞

入所者の退所に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。（複数回答可）

区分	退所に向けての支援
1	入所者に対して、定期的に退所に関する説明、調査等をしている
2	施設内において、退所支援実習等（退所後の生活の体験実習）を実施している
3	施設外において、退所支援実習等（退所後の生活の体験実習）を実施している
4	退所予定者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している
5	退所者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している
6	相談支援事業所、サービス提供事業所などの関係機関と定期的な連絡を取るなど連携を取っている
7	1～6 以外の支援を行っている

R 退所目標数区分＜直接入力＞

今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

S 自由記載＜直接入力＞

入所者の地域生活移行について、工夫していること、課題に感じていること、ご意見等があれば、ご自由に記入してください。

T 貴施設の待機人数＜直接入力＞

貴施設における、入所待機者の人数を記入してください。

札幌市

保健福祉に関する精神科病院入院患者アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、精神科病院に1年以上入院されている方の状況などをお聞きする調査を行うことといたしました。

突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、札幌市内の全ての精神科病院に、送信させていただきますものですが、回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- この調査は、令和元年9月1日時点で精神科病院に1年以上入院している方が対象です。
- 回答は別添の「回答票（エクセルファイル）」に入力願います。
- 患者ごと連番を付してください（氏名の記入は必要ありません。）。
- ＜直接入力＞項目は、該当項目に直接回答を入力してください。
- ＜コード入力＞項目は、該当項目の「コード」欄にコード表「区分」コードを入力すると、それぞれの区分が自動入力されます。※書式及び数式等は変更しないください。

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
 担当：清家、河原
 TEL011-231-3053 / Fax011-231-3143

(札幌市委託業務)

A 年齢区分＜直接入力＞

令和元年9月1日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分＜コード入力＞

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女
3	その他

C 精神障害者保健福祉手帳等区分＜コード入力＞

ご本人が持っている障害者手帳等の種類はどれですか。次の区分により記入してください。(複数回答可)

区分	等級
1	精神障害者保健福祉手帳1級
2	精神障害者保健福祉手帳2級
3	精神障害者保健福祉手帳3級
4	療育手帳A（最重度・重度）
5	療育手帳B（中度）
6	療育手帳B（軽度）
7	手帳等なし

D 入院形態区分＜コード入力＞

入院形態を次の区分より記入してください。

区分	入院形態
1	措置入院
2	医療保護入院
3	任意入院

E 疾患名区分コード入力

疾患名を次の区分により記入してください（厚生労働省調査と同じ区分です）。

区分	疾患名 (表示)	疾患名
1	F 0 0	アルツハイマー病型の認知症
2	F 0 1	血管性認知症
3	F 0 2～0 9	アルツハイマー病型認知症、血管性認知症以外の症状性を含む器質性精神障害
4	F 1 0	アルコール使用（飲酒）による精神及び行動の障害
5	覚せい剤	覚醒剤による精神及び行動の障害
6	その他精神・行動障害	アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の障害
7	F 2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害
8	F 3	気分（感情）障害
9	F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
10	F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
11	F 6	成人の人格及び行動の障害
12	F 7	知的障害（精神遅滞）
13	F 8	心理的発達の障害
14	F 9	小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害
15	詳細不明の精神障害	詳細不明の精神障害
16	てんかん	てんかん（F 0 0に属さないもの）
17	その他	その他

F 在院期間区分コード入力

在院期間を次の区分により記入してください。

区分	在院期間
1	1年～1年6か月未満
2	1年6か月～2年未満
3	2年～3年未満
4	3年～5年未満
5	5年～10年未満
6	10年～20年未満
7	20年以上

G 症状区分コード入力

症状を次の区分で記入してください。

区分	症状
1	調査日には退院日が確定している
2	症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の確保が困難等の要因により、入院を継続する
3	症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院が可能である
4	症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する
5	症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する

<<Gの回答が2～5の方について記入してください。>>

H 退院ができない要因コード入力

退院に向けての課題となっている主たる要因を記入してください（複数回答可）。

区分	要因
1	病状が不安定
2	病識がなく通院服薬の中断が予想される
3	退院意欲が乏しい
4	現実認識が乏しい
5	退院による環境変化への不安が強い
6	援助者との対人関係が持てない
7	家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない
8	家族がいない、本人をサポートする家族の機能が実質ない
9	家族から退院に反対がある
10	住まいの確保ができない
11	生活費の確保ができない
12	日常生活を支える制度が少ない
13	退院に向けてサポートする人的資源が乏しい
14	その他

＜＜全ての患者について記入してください。＞＞

I 退院に向けての支援プログラム＜コード入力＞

病院内に行っている支援プログラムについて記入してください（複数回答可）。

区分	支援プログラム
1	服薬の必要性を促す
2	社会生活技術の取得を促す
3	地域の社会資源情報を伝える
4	地域援助事業者等の紹介
5	ピアサポーターの活用
6	地域の通所施設への体験通所
7	外泊訓練
8	個別退院支援計画の作成
9	地域移行支援の活用
10	その他
11	特になし

〔退院に向けての必要資源〕

退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください（複数回答可）。

J 住まいの確保区分＜コード入力＞

区分	住まい
1	一般住宅（家族との同居を含む）
2	グループホーム
3	宿泊型自立訓練
4	特別養護老人ホーム
5	養護老人ホーム
6	老人保健施設
7	障害者支援施設
8	その他
9	特になし

K 生活訓練区分＜コード入力＞

区分	生活訓練等
1	自立訓練（生活訓練）
2	グループホームへの体験入所
3	その他
4	特になし

L 生活支援区分＜コード入力＞

区分	生活支援等
1	ホームヘルプサービス
2	訪問看護サービス
3	自立生活援助
4	給食サービス
5	相談支援事業所による支援
6	ショートステイ
7	金銭管理サービス
8	その他
9	特になし

M 活動の場区分＜コード入力＞

区分	活動の場
1	就労できる場（就労支援サービス含む）
2	地域活動支援センター／地域共同作業所
3	生活介護
4	デイケア
5	自助グループ
6	その他
7	特になし

＜＜J～Mで「その他」を選択した場合、記入してください。＞＞

N 退院に向けての必要資源＜直接入力＞

設問 J～Mで、「その他」を選択した場合、具体的にどのような資源が必要だと思いか、記入してください。

アンケート調査票（精神科病院に入院されている方へ）

<この調査は、札幌市保健福祉局が、今後の福祉施策の参考資料とするために実施しています>

これは、1年以上の入院をされている方の「退院への希望」をお聞きするものです。

- 1 あてはまるものに○をつけてください。
- 2 設問を読んでご自分で記入できる場合は、ご自分で記入してください。
ご自分で記入できない場合は、職員の方が意思を確認して記入してください。

問1 あなたは、退院して、「病院以外の場所で」生活をしたいと思いませんか。

1 したい 2 したくない 3 わからない

1をえらんだ場合

2をえらんだ場合

問2 退院できない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 病状が不安定だから
- 2 薬の管理に自信がないから
- 3 退院して環境が変わることに不安があるから
- 4 家事（調理、洗濯、買い物等）に手助けが必要だから
- 5 生活費の管理に自信がないから
- 6 家族など、助けてくれる人がいないから
- 7 家族が退院に反対しているから
- 8 住む場所が見つからないから
- 9 生活費が足りないから
- 10 困ったときに相談できる場所がないから
- 11 退院の許可がでない（退院できる状況ではない）から
- 12 その他（ ）

問3 退院をしたくない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 病状が不安定だから
- 2 薬の管理に自信がないから
- 3 退院して環境が変わることに不安があるから
- 4 家事（調理、洗濯、買い物等）に手助けが必要だから
- 5 生活費の管理に自信がないから
- 6 家族など、助けてくれる人がいないから
- 7 家族が退院に反対しているから
- 8 住む場所が見つからないから
- 9 生活費が足りないから
- 10 困ったときに相談できる場所がないから
- 11 その他（ ）

ご協力ありがとうございました。